

青森市総合計画
前期基本計画

フォローアップ表

第2分科会 <人をまもり・そだてる>

新たな総合計画の行政分野から見た現総合計画との対比表

新たな青森市総合計画		現青森市総合計画							
分科会	行政分野	章	節	項（施策名）					
第1へ仕事を つくる	産業・雇用	1	しごと創り	1	産業の振興・雇用対策の推進	1 地域ベンチャー支援の推進			
	観光					3	観光の振興・誘客の推進	2 地域資源を活かした産業の育成	
								3 個性と魅力ある商店街の形成	
								4 雇用対策の推進	
農林水産	2	農林水産業の振興	1 広域観光の推進						
			2 観光資源の充実						
その他	3	まち創り	1	地域内連携・広域連携の推進	3 受入態勢の強化				
					1 ぁおもり製品の販売力の強化				
					2 農林水産業の経営体質の強化				
第2へ人を まもり・そだてる	子育て支援	2	ひと創り	1	子ども・子育て支援の充実	1 切れ目のない子育て支援			
						スポーツ	3	スポーツの推進	2 子ども支援の充実
									1 教育環境の整備
	2 教育活動の充実								
	健康づくり	4	やさしい街	1	保健・医療の充実	3 教育支援の充実			
						1 スポーツ人口の拡大			
	障がい者福祉	3	障がい者福祉の充実	3	障がい者福祉の充実	2 スポーツによる地域活性化			
						3 競技力の向上			
	高齢者福祉	2	高齢者福祉の充実	2	高齢者福祉の充実	1 健康寿命の延伸			
						2 適正な介護サービスの提供			
	男女共同参画	3	まち創り	3	ユニバーサル社会の形成	2 感染症対策の充実			
	防災・雪対策 (地域防災・克雪体制)	5	つよい街	1	防災体制・雪対策の充実	3 地域医療の充実			
						1 障がいのあるかたの地域生活支援の充実			
	その他	2	ひと創り	2	教育の充実	2 障がいのあるかたの自立した生活の確保			
						4 文化芸術の推進			
		3	まち創り	2	安全・安心な市民生活の確保	1 地域包括ケア・生きがいがづくりの推進			
3 ユニバーサル社会の形成									
4		やさしい街	4	暮らしを支える福祉の充実	2 適正な介護サービスの提供				
					1 市民防災の促進				
					3 克雪体制の整備				
					4 社会教育の推進				
第3へまちを デザインする	文化	2	ひと創り	4	文化芸術の推進	1 文化財の保存・活用			
	市民協働	3	まち創り	1	地域内連携・広域連携の推進	1 地域の個性を活かしたまちづくり			
	まちづくり	5	つよい街	2	土地利用・都市景観の形成	1 効率的で計画的な土地利用の推進			
						3	交通インフラの充実	2 自然環境と調和した都市景観の形成	
								3 安全で快適な住まいの確保	
	防災・雪対策 (都市基盤整備・除排雪)	1	防災体制・雪対策の充実	1	防災体制・雪対策の充実	1 広域交通の充実			
						3 克雪体制の整備			
	環境	6	かがやく街	1	豊かな自然環境の保全	2 域内交通の充実			
						2	快適な生活環境の確保	3 快適な道路交通環境の確保	
								1 適正な汚水排除・処理の確保	
		3	廃棄物対策の推進	3	廃棄物対策の推進	2 公害対策の推進			
						3 衛生的な生活環境の確保			
						1 ごみの減量化・リサイクルの強化			
						2 適正な廃棄物処理の確保			

【行政分野】

子育て支援

【前期基本計画における施策数】 5

2-1-1 切れ目のない子育て支援

2-1-2 子ども支援の充実

2-2-1 教育環境の整備

2-2-2 教育活動の充実

2-2-3 教育支援の充実

フォローアップ表 「3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況」の達成度評価の説明

A： 順調	… 実績値がその年度の目標値を 100%以上達成
B： 概ね順調	… 実績値がその年度の目標値を概ね（75%以上 100%未満）達成
C： やや遅れている	… 実績値がその年度の目標値の 50%～75%未満
D： 遅れている	… 実績値がその年度の目標値の 50%未満

1 施策の基本情報

基本政策	第2章	ひと創り	主たる担当部局 保健部 関連部局 福祉部・教育委員会事務局
政策	第1節	子ども・子育て支援の充実	
施策	第1項	切れ目のない子育て支援	

2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

安心して子どもを産み育てることができるよう、妊娠期から子育て期まで切れ目がなく、多様なニーズに応じたきめ細かな子育て支援を行います。

3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
産婦の訪問指導実施率	保健師等による産婦への訪問指導を実施した割合	+	H29 88.9 %	目標値	/	96.3	100	100	100	100
				実績値	86.2	90.5	91.2	90.2	94.6	
分析	産婦の訪問指導実施率は94.6%となり、目標値を下回りました。		達成度評価	B						

指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
乳幼児健康診査の受診率	4か月児・7か月児・1歳6か月児・3歳児健康診査を受診した子どもの割合	+	H29 97.9 %	目標値	/	99.0	100.0	100.0	100.0	100.0
				実績値	98.7	98.8	99.5	97.2	98.9	
分析	乳幼児健康診査の受診率は98.9%となり、目標値を下回りました。		達成度評価	B						

4 市民意識調査

設問 あなたは、青森市は子育てしやすい街だと思いますか。		全くそう思わない 4.7%	無回答 3.8%	大いにそう思う 4.2%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大いにそう思う</td> <td>5.5</td> <td>7.3</td> <td>5.3</td> <td>4.0</td> <td>4.2</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえばそう思う</td> <td>39.4</td> <td>41.3</td> <td>41.2</td> <td>39.3</td> <td>36.8</td> </tr> <tr> <td>どちらともいえない</td> <td>33.8</td> <td>33.5</td> <td>32.8</td> <td>31.9</td> <td>32.0</td> </tr> <tr> <td>あまりそう思わない</td> <td>16.1</td> <td>13.9</td> <td>16.7</td> <td>19.0</td> <td>18.4</td> </tr> <tr> <td>全くそう思わない</td> <td>4.5</td> <td>2.4</td> <td>2.5</td> <td>3.8</td> <td>4.7</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>0.6</td> <td>1.6</td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> <td>3.8</td> </tr> </tbody> </table>	区分	R1	R2	R3	R4	R5	大いにそう思う	5.5	7.3	5.3	4.0	4.2	どちらかといえばそう思う	39.4	41.3	41.2	39.3	36.8	どちらともいえない	33.8	33.5	32.8	31.9	32.0	あまりそう思わない	16.1	13.9	16.7	19.0	18.4	全くそう思わない	4.5	2.4	2.5	3.8	4.7	無回答	0.6	1.6	1.5	2.0	3.8
		区分	R1	R2		R3	R4	R5																																							
大いにそう思う	5.5	7.3	5.3	4.0	4.2																																										
どちらかといえばそう思う	39.4	41.3	41.2	39.3	36.8																																										
どちらともいえない	33.8	33.5	32.8	31.9	32.0																																										
あまりそう思わない	16.1	13.9	16.7	19.0	18.4																																										
全くそう思わない	4.5	2.4	2.5	3.8	4.7																																										
無回答	0.6	1.6	1.5	2.0	3.8																																										
どちらともいえない 32.0%	どちらかといえばそう思う 36.8%																																														

設問 あなたは、青森市が、安心して子どもを産み育てることができるよう、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を提供する「(仮称)青森市母子健康包括支援センター」を元氣プラザ内に整備・開設することについて、どう思いますか。		良くないと思う 0.5%	無回答 0.8%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大変良いと思う</td> <td>37.2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>良いと思う</td> <td>45.2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>14.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>あまり良くないと思う</td> <td>1.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>良くないと思う</td> <td>0.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>0.8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	R1	R2	R3	R4	R5	大変良いと思う	37.2					良いと思う	45.2					普通	14.0					あまり良くないと思う	1.5					良くないと思う	0.5					無回答	0.8				
		区分	R1		R2	R3	R4	R5																																						
大変良いと思う	37.2																																													
良いと思う	45.2																																													
普通	14.0																																													
あまり良くないと思う	1.5																																													
良くないと思う	0.5																																													
無回答	0.8																																													
普通 14.0%	良いと思う 45.2%	大変良いと思う 37.2%																																												

設問 青森市では、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を提供するため、元氣プラザ内に「あおり親子はぐみプラザ」を開設し、臨床心理士、社会福祉士、保育士などの専門職が対応していますが、あなたやあなたのご家族は利用したいと思いますか。		子育てに関わっていない 28.2%	無回答 1.6%	利用したい 9.7%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用したい</td> <td></td> <td>6.9</td> <td>9.7</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機会があれば利用したい</td> <td></td> <td>30.3</td> <td>38.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>どちらともいえない</td> <td></td> <td>18.7</td> <td>20.5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用したくない</td> <td></td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>子育てに関わっていない</td> <td></td> <td>39.9</td> <td>28.2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td></td> <td>2.2</td> <td>1.6</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	R1	R2	R3	R4	R5	利用したい		6.9	9.7			機会があれば利用したい		30.3	38.0			どちらともいえない		18.7	20.5			利用したくない		2.0	2.0			子育てに関わっていない		39.9	28.2			無回答		2.2	1.6		
		区分	R1	R2		R3	R4	R5																																							
利用したい		6.9	9.7																																												
機会があれば利用したい		30.3	38.0																																												
どちらともいえない		18.7	20.5																																												
利用したくない		2.0	2.0																																												
子育てに関わっていない		39.9	28.2																																												
無回答		2.2	1.6																																												
利用したくない 2.0%	どちらともいえない 20.5%	機会があれば利用したい 38.0%																																													

5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
不育症検査費用助成事業	3	先進医療として実施された不育症検査を受けた方に対し経済的負担の軽減を図るため、検査費用の助成を行いました。令和4年度は国が指定する対象の検査が11月末までなかったため申請実績はありませんでした。	申請件数に対する助成割合 単位 %	-	-	-	-	0
妊婦健康診査事業	157,868	妊娠届出者に対する妊婦健康診査者の割合は、毎年99.0%前後で推移しており、母体の健康管理に寄与しています。	妊娠届出者に対する妊婦健康診査者の割合 単位 %	99.0	100.4	98.9	98.8	101.3
産後ケア（デイサービス・訪問）事業	681	産後1年未満の母子に対し、産後ケアを提供することで、母親の育児に関する不安や疲労感の軽減を図りました。	「産後、助産師や保健師等からの指導・ケアは十分に受けられることができた」と回答した方の割合 単位 %	-	-	-	-	83.2
ひとり親家庭等就業自立支援事業	14,018	延べ利用者数は前年度と比較し減少したものの、市ホームページへの掲載や関係機関を通じた給付金制度の周知により、給付金の利用者数は増加傾向で推移していることから、一定の成果が出ていると考えます。	ひとり親家庭等就業自立支援事業の延べ利用者数 単位 人	266	248	341	308	262
こども食育レッスン1・2・3事業	2,016	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症流行状況等に応じ、対面式・オンライン・動画視聴の3つの方法で食育レッスンを38園で実施しました。平成30年度から5年間で市内全ての保育園等で食育レッスンを実施し、就学前の子どもたちの健康的な食習慣づくりを推進しました。	こども食育レッスンの実施園数 単位 園	27	23	17	7	38
小学生のための食育チャレンジ・プログラム事業	1,198	令和4年度は、新たに市内の小学校12校において食育チャレンジ・プログラムを実施し、全小学校において、児童の健康的な食習慣づくりを推進しました。	食育チャレンジ・プログラム事業実施校数 単位 校	2	5	10	13	12
産前・産後の心と体のケア事業	8,752	妊産婦等が抱える産前・産後の心と体の変化や、妊娠・出産・子育てに関する悩み等について、助産師等が電話や来所、訪問で相談に応じ、相談者の不安の軽減や孤立感の解消を図りました。	助産師等による相談件数 単位 件	-	-	149	148	158
乳幼児健康診査事業（4か月児、7か月児、1歳6か月児、3歳児）	29,771	乳幼児健康診査は、未受診児に訪問や電話による受診勧奨を行い、受診率は1.7%増加しました。	乳幼児健康診査の受診率 単位 %	98.7	98.8	99.5	97.2	98.9
私立保育所等運営事業	10,600,355	継続的に教育・保育施設等へ経費を支給することにより、安定した施設運営が図られました。また、国の調査定義による待機児童数（4月1日時点）は、平成22年度から13年連続で「ゼロ」となっています。	入所児童延人数 単位 人	84,960	86,269	85,300	83,950	81,096
一時預かり事業（連携）	104,198	81,509人の児童が一時預かり事業を利用することで、保護者の就労及び子育ての両立を支援しました。なお、連携中枢都市圏域内町村の延べ利用児童数は823人でした。（青森市：平内町から1人、平内町：青森市から222人、外ヶ浜町：青森市から19人、蓬田村から576人、今別町：外ヶ浜町から5人）	延べ利用児童数 単位 人	-	-	87,711	83,193	81,509
病児一時保育事業（連携）	39,767	626人の児童が病児一時保育事業を利用することで、仕事などでやむを得ず病児を預けなければならない保護者のセーフティネットとしての役割を果たしました。なお、連携中枢都市圏域内町村の延べ利用児童数は0人でした。	延べ利用児童数 単位 人	-	-	360	697	626
児童福祉施設整備費補助金交付事務	329,167	児童福祉施設（保育所等）の増改築等により教育・保育環境の向上に取り組む施設に対して補助金を交付し、乳幼児期の教育・保育の充実を図りました。	補助対象施設数 単位 施設	3	4	0	1	2
妊産婦・新生児訪問指導事業	3,866	母子の健康管理や育児不安の軽減を図るため、妊婦及び産婦・新生児の自宅等を訪問し、訪問指導率は6.6%増加しました。	新生児訪問指導率 単位 %	87.6	90.4	91.9	89.3	95.9

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

<p>令和2年4月、元氣プラザ内に「あおり親子はぐくみプラザ」を開設し、保健師、助産師、保育士、管理栄養士、社会福祉士、臨床心理士等の専門職がチームで、妊娠期から子育て期の支援を包括的、継続的に実施しています。令和4年度からは新たに「産後ケア（デイサービス・訪問）事業」を開始し、子育て支援の充実を図りました。指標①「産婦の訪問指導実施率」、指標②「乳幼児健康診査の受診率」とともに順調に推移していることから、いずれの事業も切れ目のないきめ細かな子育て支援に寄与しています。</p> <p>市民意識調査では、青森市は子育てしやすい街だと思えるかについて、「大いに思う」、「どちらかといえば思う」と回答した割合が41%となっていることから、引き続き、継続した取組が必要です。</p>
--

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

<p>（課題） 施策評価の結果を踏まえ、関係機関等との連携を強化し、妊娠期から子育て期まで切れ目のない子育て支援に引き続き取り組む必要があります。</p> <p>（目指すべき方向性） 安心して子どもを産み育てることができるよう、妊娠期から子育て期まで切れ目がなく、多様なニーズに応じたきめ細かな子育て支援を行います。</p>
--

1 施策の基本情報

基本政策	第2章	ひと創り	主たる担当部局
政策	第1節	子ども・子育て支援の充実	
施策	第2項	子ども支援の充実	関連部局
			保健部

2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

身近な地域の中で安全・安心に過ごすことのできるよう子ども支援を行います。
子どもが自ら考え、主体的に活動できる環境づくりを進めます。

3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況【◎印は青森市総合戦略2020-2024の指標も兼ねる】

指標①	指標の説明	方向	基準値			H30	R1	R2	R3	R4	R5
子どもの活動拠点の利用を希望する児童の受入率◎	放課後児童会、放課後子ども教室、児童館などの利用を希望する児童を受け入れた割合	+	H29	100	%	目標値	100	100	100	100	100
						実績値	100	100	100	100	100

分析	子どもの活動拠点の利用を希望する児童を、目標値どおり100%受け入れることができました。	達成度評価	A	子ども活動拠点受入率						

指標②	指標の説明	方向	基準値			H30	R1	R2	R3	R4	R5
青森市子ども会議委員の意見表明機会の回数	青森市子ども会議委員の意見表明機会の回数	+	H29	3	回	目標値	4	4	4	4	4
						実績値	4	3	3	5	8

分析	青森市子ども会議委員が意見を表明する機会の回数は8回となり、目標値を上回りました。	達成度評価	A	子ども会議委員の意見表明機会数						

指標③	指標の説明	方向	基準値			H30	R1	R2	R3	R4	R5
						目標値					
						実績値					

分析		達成度評価								

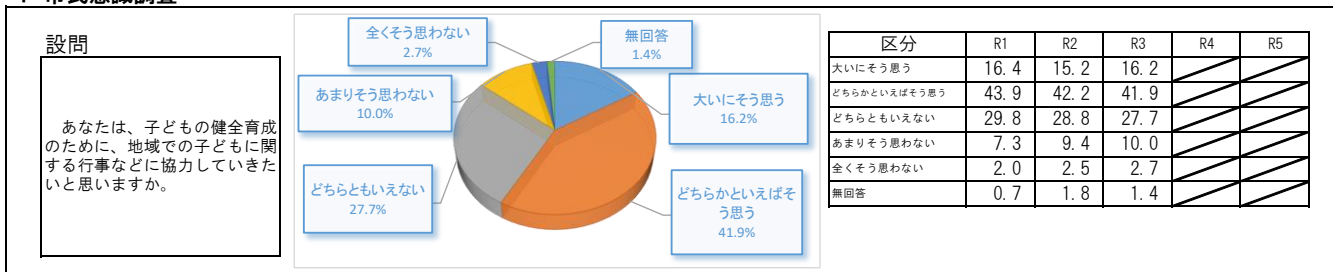
指標④	指標の説明	方向	基準値			H30	R1	R2	R3	R4	R5
						目標値					
						実績値					

分析		達成度評価								

指標⑤	指標の説明	方向	基準値			H30	R1	R2	R3	R4	R5
						目標値					
						実績値					

分析		達成度評価								

4 市民意識調査



5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
保育所等における感染拡大防止対策推進事業	49,536	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、保育所等が子ども用マスク、消毒液等の保健衛生用品の購入に要する費用を補助するとともに、職員が感染症対策の徹底を図りながら事業を継続的に実施していくために必要な費用を補助しました。	事業実施保育所等数 単位 箇所	-	102	100	94	99
子ども・家庭総合相談支援事業	3,490	児童虐待の通告や子育て相談の中で把握した児相虐待等の相談に全て対応しました。	児童虐待の相談対応率 単位 %	-	-	-	100	100
つどいの広場運営事業	5,629	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、利用人数の制限等を行いながら、つどいの広場「さんぽぼ」において、子育て親子の交流の場の提供や子育てに関する相談、子育て講座などを行い育児不安や孤立化の軽減を図りました。	利用者人数 単位 人	29,816	28,932	10,502	8,679	10,634
放課後児童対策事業	553,204	放課後児童会の利用希望者がいる全ての小学校区で放課後児童会を開設し、利用希望児童を100%受け入れました。	放課後児童会対象児童受入率 単位 %	100	100	100	100	100
青森市子ども会議運営事業	127	ねぶた祭における子どもの権利の普及啓発活動のほか、子どもの自主性を尊重し市へ直接意見表明できる「子ども会議フォーラム」、子どもたちが自由に意見を出し合える「トークイベント」、1年間の活動成果を発表する「活動報告会」を開催したほか、川崎市にあるYTKと豊田市子ども会議とのオンライン交流会及び「子どもの権利条約フォーラムin那覇／沖縄」への参加、Instagramを活用した市の魅力発信など子どもが意見を表明する機会を確保しました。 ・R4年度子ども会議委員数26人、子どもサポーター7人	青森市子ども会議委員の意見表明機会の回数 単位 回	4	3	3	5	8

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

主要な事業に取り組んだ結果、指標①「子どもの活動拠点の利用を希望する児童の受入率」は平成30年度以降100%を維持し、指標②「青森市子ども会議委員の意見表明機会の回数」は令和3年度以降は目標を達成していることから、子どもが身近な地域の中で安全・安心に過ごすことができ、子どもが自ら考え、主体的に活動できる環境づくりに寄与しています。

市民意識調査では、子どもの健全育成のために、地域での子どもに関する行事などに協力していききたいかについて「大いにそう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した割合が、令和元年度から令和3年度まで概ね6割となっていることから、引き続き、地域全体で子育てを支援する環境づくりに取り組んでいく必要があります。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）
安全・安心な子どもの居場所づくりを推進するため、引き続き、放課後児童会の活動スペースの確保や開設箇所の増設などを行い、良好な環境で全ての利用希望者を受け入れていく必要があります。また、子どもの権利が保障され、主体的に活動できる環境づくりを推進するため、青森市子どもの権利条例に基づく意見表明・参加の権利を保障する機会の確保に引き続き取り組んでいく必要があります。

（目指すべき方向性）
放課後児童会や児童館など、子どもの活動拠点の利用希望者を良好な環境で全て受け入れるとともに、児童虐待等の相談対応、子育て親子の交流の場の提供や子育てに関する相談、子育て講座の開催等により、身近な地域の中で安全・安心に過ごすことができるよう子ども支援を行います。また、子どもの権利の普及啓発や子どもが自主的に意見表明し社会に参加できる機会の提供等により、子どもが自ら考え、主体的に活動できる環境づくりを進めます。

1 施策の基本情報

基本政策	第2章	ひと創り	主たる担当部局 教育委員会事務局
政策	第2節	教育の充実	
施策	第1項	教育環境の整備	

2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

少子化を背景とした児童生徒の減少など、学校を取り巻く状況の変化に対応しながら、安全・快適で質の高い教育を受けることができる教育環境づくりを進めます。

3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
学校環境の整備（トイレの洋式化率）	市内公立小・中学校施設における洋便器の割合	+	H29 26.2 %	目標値		39.0	41.0	48.0	49.0	50.0
				実績値	27.0	44.3	45.6	58.0	58.4	
分析	学校環境の整備（トイレの洋式化率）は58.4%となり、目標値を上回りました。			達成度評価	A					

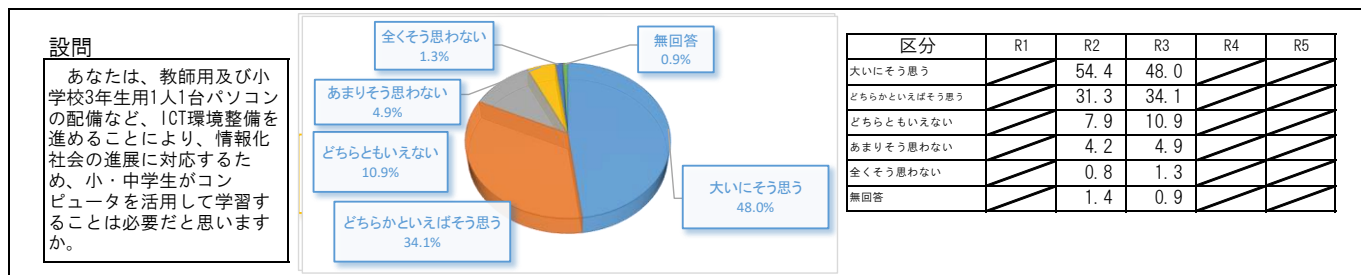
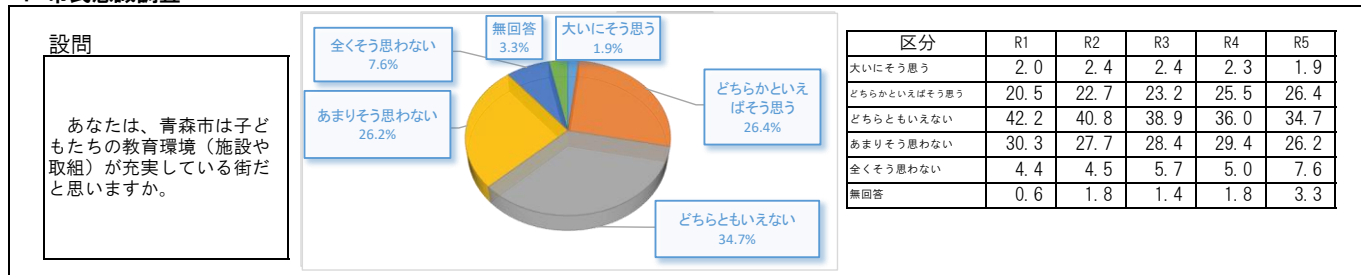
指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

4 市民意識調査



5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
GIGAスクール推進事業	48,920	Society5.0時代に生きる子どもたちの未来を見据え、高速大容量の通信ネットワーク等を整備する「GIGAスクール構想」の実現のため、令和4年度は小学校1・2年生に1人1台パソコンの配備を行った結果、児童生徒1人当たり端末台数は1台となり目標を達成しました。	児童生徒1人当たり端末台数(1人1台端末)	-	-	0.7	0.91	1
情報処理機器整備事業	144,743		児童生徒1人当たり端末台数(1人1台端末)	-	-	0.7	0.91	1
小・中学校改築事業	1,720,502	①造道小学校 改築に向けて基本設計を行いました。 ②筒井小学校 校舎等改築工事(3か年の2年目)に着手しました。 ③西中学校 屋内運動場改築工事(2か年の1年目)に着手しました。	校舎改築工事着手・完了校数(延べ校数)	3	3	3	3	3
小・中学校大規模改修事業	97,437	①沖館小学校校舎の暖房設備改修工事を行いました。 ②西中学校にエレベーターを設置しました。	改修工事着手・完了校数(延べ校数)	4	3	5	1	2
小・中学校施設整備事業	21,227	①小中学校の普通教室等で新たに必要となったエアコンを設置しました。 ②野内小学校、横内小学校の地下タンク改修工事を行いました。 ③浪岡中学校校舎屋上防水改修工事の設計を行いました。	改修工事着手・完了校数(延べ校数)	21	21	62	62	23

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

令和元年度からトイレの環境改善を図るため、トイレの洋式化に取り組んだ結果、各年度とも目標値を超えています。令和4年度には、造道小学校の校舎改築に向けた基本設計、筒井小学校、西中学校の改築工事など、着実に学校環境の整備を進めているほか、学校施設の老朽化に伴う各学校から寄せられる修繕要望にも対応しています。また、令和2年度からChromebook、2in1パソコンの配備を通じ、1人1台端末の実現に向けて取り組んだ結果、令和4年度に小・中学校の児童生徒全員への配備が完了し、「児童生徒1人当たり端末台数」は1台となり、目標を達成しました。いずれの事業も施策の方向性である安全・快適で質の高い教育を受けることができる教育環境づくりに寄与しています。

市民意識調査では、青森市は子どもたちの教育環境が充実しているかについて「大いにそう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した割合が、令和元年度から着実に上昇していることから、引き続き、継続した取組が必要です。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）
施策評価の指標である学校環境の整備（トイレの洋式化率）については、各年度とも目標値を超えることができましたが、引き続き、学校施設の老朽化対策と併せて計画的に取り組む必要があります。
また、「GIGAスクール構想」実現のため、1人1台端末や高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するなど、安全・快適で質の高い教育を受けることができる教育環境づくりに引き続き取り組む必要があります。

（目指すべき方向性）
少子化を背景とした児童生徒の減少や学校施設の老朽化が進行していることから、適正な学校規模の確保や学校施設等の老朽化に対する取組を継続するとともに、安全・快適かつ質の高い教育を受けることができる環境づくりを進めます。

1 施策の基本情報

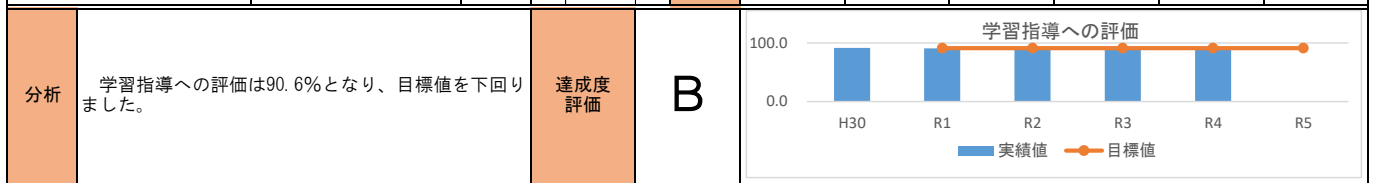
基本政策	第2章	ひと創り	主たる担当部局 教育委員会事務局
政策	第2節	教育の充実	
施策	第2項	教育活動の充実	
			関連部局 -

2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

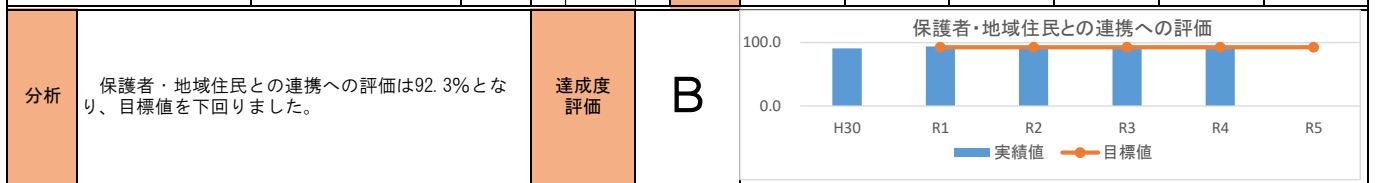
子どもたちの確かな学力・豊かな人間性・健やかな体など「生きる力」の育成を図るため、学校・家庭・地域が一体となって、子どもを育む環境づくりを進めるほか、幼小、小中、中高間の子どもの発達や学びの連続性を保障します。

3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況【◎印は青森市総合戦略2020-2024の指標も兼ねる】

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5	
学習指導への評価◎	市内公立小・中学校の児童生徒に対するアンケートの「学習指導」に関する項目について、「理解している」「概ね理解している」と回答した割合	+	H29	91.1	%	目標値	91.1	91.1	91.1	91.1	91.1
						実績値	91.4	90.8	91.6	90.8	90.6



指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5	
保護者・地域住民との連携への評価	市内公立小・中学校の保護者に対するアンケートの「保護者・地域住民との連携」に関する項目について、「連携している」「概ね連携している」と回答した割合	+	H29	92.5	%	目標値	92.5	92.5	92.5	92.5	92.5
						実績値	91.0	93.7	93.5	92.7	92.3



指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
					目標値					
					実績値					

分析		達成度評価								
----	--	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

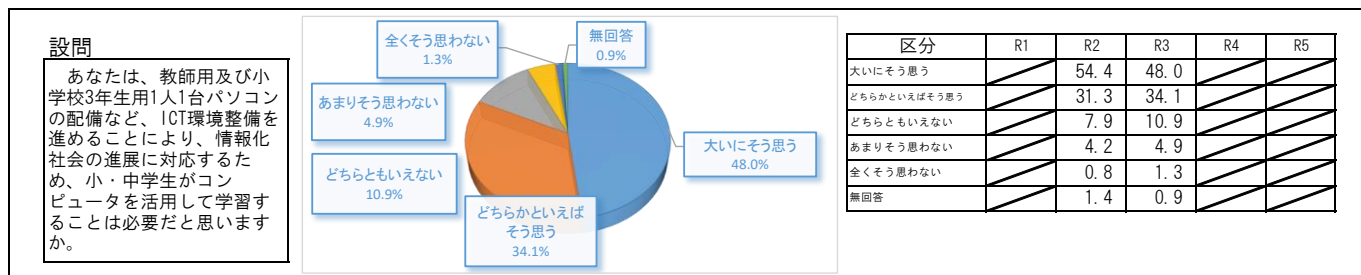
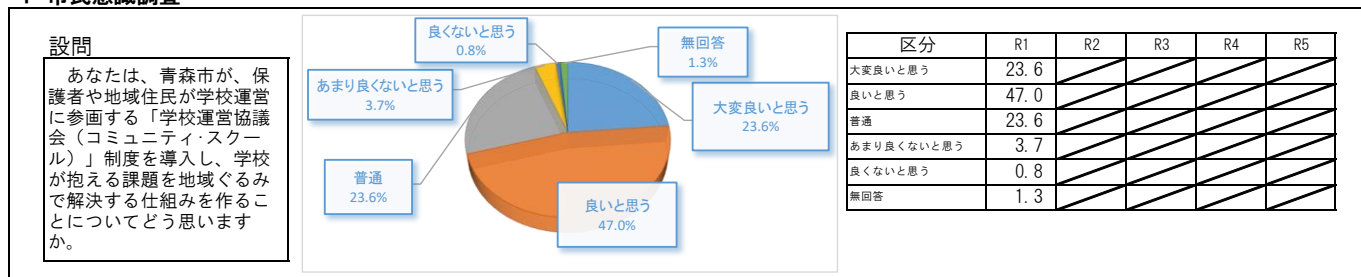
指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
					目標値					
					実績値					

分析		達成度評価								
----	--	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
					目標値					
					実績値					

分析		達成度評価								
----	--	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

4 市民意識調査



5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
コミュニティ・スクール推進体制構築事業	1,094	R1年度から4中学校区19校に学校運営協議会を設置し、R3年度は4中学校区9校、R5年度には新たに4中学校区12校に設置校を拡充しました。 (令和3年度末で、学校運営協議会の設置校である大栄小学校が浪岡北小学校に統合したことにより、設置校数が27校となりました。)	学校運営委員会を設置している小・中学校数	-	19	19	28	27
地域学校協働活動推進事業	4,098	全小・中学校で事業が実施できる体制が整いました。 (令和3年度末で大栄小学校が浪岡北小学校に統合したことにより61校となりました。)	地域学校協働活動事業実施校数	52	64	62	62	61
外国語指導助手（ALT）活用事業	85,311	外国語指導助手を活用した授業の実施により、児童が生徒の英語に触れる機会を確保するとともに、実践的なコミュニケーション能力を高めることができました。 ※R4は新型コロナウイルス感染症対策の影響もあり、ALTの訪問を見合わせた期間もありましたが、WEB授業等への切り替えも行き、R3よりも実績値を伸ばすことができました。	小・中学校における外国語指導助手を活用した授業時間	7,590	5,952	6,071	6,453	8,542
スイミング支援事業	3,569	学校プール未設置校や、老朽化に伴う故障等でプールを使用できなくなった学校が増えてきている中で、本事業により水泳授業を実施し児童の体力の向上を図り、水難事故防止の指導も行いました。 R4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、水泳授業を中止する学校がありました。 (R3年度も水泳授業を中止する学校がありました。)	水泳の授業を実施している小学校の割合	100	100	0	30	80
小中一貫及び小・中連携教育課程研究開発事業	452	本市の求める子ども像を具現化するためには、中1ギャップの解消及び中学校区の学校課題解決に向けて、子どもたちの9年間の学びのつながりを意識した指導が重要です。各中学校区においては、出前授業や児童生徒交流を行ったり学び方等の共通指導を継続したりと、児童生徒の実態に応じた取組を進めています。	小・中学校間での、教員による出前授業、児童生徒交流、統一指導（割合）	100	100	100	100	100

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

目標値に対する実績値の状況として、新型コロナウイルス感染症による影響で本来の目指す形での事業が推進できなかったため、実績値が目標値を下回る結果となりました。しかしながら、いずれの事業も推進体制は整っており、外国語指導助手（ALT）活用事業では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、外国語指導助手を活用した授業時間が昨年度より大幅に増加し、施策の推進に寄与しています。
また、学校・家庭・地域が一体となって子どもを育む環境づくりについては、保護者・地域住民との連携への評価に対する指標の実績値が一定の数値を表しており、学校・家庭・地域が一体となって子どもを育てる地域学校協働本部が市内全小・中学校に設置されるとともに、学校運営協議会の順次設置などにより、施策が進展しつつあります。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）
前期基本計画指標①の「学習指導への評価」の実績値が目標値に達していないことから、ICTの活用についても効果的な活用法について、更なる工夫が必要となります。

（目指すべき方向性）
確かな学力を身に付けさせるため、「指導と評価の一体化」を重要視しながら、「個別最適な学び」、「協働的な学び」につながるよう、学校訪問や研修講座等を活用しながら指導助言に努めてまいります。

1 施策の基本情報

基本政策	第2章	ひと創り	主たる担当部局 教育委員会事務局
政策	第2節	教育の充実	
施策	第3項	教育支援の充実	

2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

子どもを取り巻く諸問題が多様化・複雑化しており、全ての子どもが安心して学ぶことができるよう、教育支援の充実を図ります。

3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
いじめ防止対策への評価	市内公立小・中学校の保護者に対するアンケートの「いじめ防止対策」に関する項目について、「対応している」「概ね対応している」と回答した割合	+	H29 88.4 %	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
				実績値	87.9	89.9	91.0	90.3	89.9	
分析	いじめ防止対策への評価は89.9%となり、目標値を下回りました。			達成度評価						

指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

4 市民意識調査

設問

あなたは、青森市は不登校等の問題について保護者、児童生徒等が相談しやすい環境が整っている街だと思いますか。

無回答	1.9%
大いにそう思う	1.1%
どちらかといえばそう思う	9.0%
どちらともいえない	47.0%
あまりそう思わない	32.8%
全くそう思わない	8.2%

区分	R1	R2	R3	R4	R5
大いにそう思う	0.8	1.2	1.1		
どちらかといえばそう思う	7.6	9.1	9.0		
どちらともいえない	48.0	47.7	47.0		
あまりそう思わない	34.0	31.7	32.8		
全くそう思わない	8.8	8.4	8.2		
無回答	0.9	2.0	1.9		

設問

区分	R1	R2	R3	R4	R5

5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
特別支援教育支援員配置事業	33,291	特別支援教育支援員を50人配置することで、市立小・中学校に在籍する教育上特別な支援を必要とする普通学級の児童生徒に対し、学校生活上の介助や学習活動上の支援を行いました。	特別支援教育支援員数 単位：人	37	37	37	48	50
青森市いじめ防止対策総合推進事業	532	いじめの認知件数に対する解消件数の割合は、4.5ポイント上昇しました。学校と教育委員会及び保護者・地域・関係機関等が連携し、いじめを相談しやすい環境づくりや早期発見に取り組んだ結果によるものと考えられます。	いじめ認知件数に対する解消件数割合（小中合計） 単位：%	75.3	85.7	78.1	76.3	80.8
小・中学校安全・安心対策事業（連携）	3,235	問題のある書き込み等を発見し、学校へ情報提供することにより、ネットトラブルの拡大防止や犯罪被害の抑止を図った結果、ネットパトロールによりSNSアカウント1,814件を把握するとともに、把握した不適切利用328件全てを学校に情報提供して注意・指導に繋げ、目標の100%を達成しました。	学校で改善のために注意・指導した割合 単位：%	100	100	100	100	100
学びの継続のための修学支援金給付事業	192	経済的に修学が困難となった学生に対して、「学びの継続」を支援するため本事業を実施した結果、修学支援金支給により修学機会が確保されている者の割合は目標値の100%を達成しています。	修学支援金支給により修学機会が確保されている者の割合 単位：%	-	-	100	100	100

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

全ての子どもが安心して学ぶことができるよう、いじめ防止や教育相談の充実、ネットトラブルによる犯罪被害抑止に取り組んだ結果、小・中学校のいじめ認知件数に対する解消件数の割合が前年度より4.5ポイント上昇しており、いじめによる児童生徒の被害を抑止する取組が確実に進みつつあります。

また、小・中学校安全・安心対策事業においては、ネットパトロールの情報提供により、学校で改善のために注意・指導した割合が100%に達しており、施策の課題であるネットトラブルや犯罪被害の拡大抑止に寄与しています。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）
子どもを取り巻く諸問題が多様化・複雑化している中、いじめ防止や教育相談の充実、ネットトラブルによる犯罪被害抑止の実績値は、いずれも前年度に比べ、増加傾向にあります。

（目指すべき方向性）
今後も全ての子どもが安心して学ぶことができるよう、端末を活用した教育相談の充実や各学校における教育支援のより一層の充実を図ってまいります。

【行政分野】

スポーツ

【前期基本計画における施策数】 3

2-3-1 スポーツ人口の拡大

2-3-2 スポーツによる地域活性化

2-3-3 競技力の向上

1 施策の基本情報

基本政策	第2章	ひと創り	主たる担当部局 経済部 関連部局 浪岡振興部
政策	第3節	スポーツの推進	
施策	第1項	スポーツ人口の拡大	

2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

スポーツ人口の増加に向け、年間を通じて、市民誰もがスポーツに親しめる環境づくりを進めます。

3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況【◎印は青森市総合戦略2020-2024の指標も兼ねる】

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
スポーツ施設利用者数◎	市の体育施設利用者数	+	H29 877,729 人	目標値		973,560	973,760	973,960	974,160	974,360
				実績値	936,736	861,845	527,391	513,142	668,115	
分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ施設利用者数は668,115人となり、目標値を下回りました。			達成度評価	C	<p>スポーツ施設利用者数</p> <p>2,000,000 0</p> <p>H30 R1 R2 R3 R4 R5</p> <p>■ 実績値 ● 目標値</p>				

指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

4 市民意識調査

設問

あなたは、この1年間に、どれくらいの頻度で運動（ウォーキング・ジョギングを含む）やスポーツ（登山・トレッキングを含む）を行いましたか。

頻度	割合
週に3日以上	15.9%
週に1~2日	17.0%
月に1~3日	12.5%
3か月に1~2日	4.5%
年に1~3日	5.1%
どれくらいの頻度かわからない	5.0%
運動やスポーツを行っていない	38.2%
無回答	1.9%

区分	R1	R2	R3	R4	R5
週に3日以上	14.5	14.5	13.7	16.3	15.9
週に1~2日	17.2	16.9	18.3	16.9	17.0
月に1~3日	9.5	12.2	11.4	9.4	12.5
3か月に1~2日	3.8	3.2	4.7	3.8	4.5
年に1~3日	5.8	4.7	4.4	4.7	5.1
どれくらいの頻度かわからない	8.1	7.3	5.7	5.9	5.0
運動やスポーツを行っていない	40.4	39.8	40.6	41.9	38.2
無回答	0.8	1.4	1.2	1.1	1.9

設問

区分	R1	R2	R3	R4	R5

5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
スポーツ振興施設運営管理事業	355,926	スポーツ振興施設（青森市民体育館、青森市民室内プール、青森市屋内グラウンド、青森市宮野球場、青森市宮庭球場、青森市スポーツ会館、青森市スポーツ広場）の適切な運営管理を通じて市民誰もがスポーツに親しめる環境づくりに取り組んだ結果、スポーツ施設利用者数は前年度の442,591人を上回る582,059人となり、増加に転じました。	スポーツ施設利用者数 単位：人	823,250	764,992	445,193	442,591	582,059
浪岡体育館運営管理事業	17,263	浪岡体育館の適切な運営管理を通じて市民誰もがスポーツに親しめる環境づくりに取り組んだ結果、浪岡体育館利用者数は前年度の42,187人を上回る60,099人となり、増加に転じました。	浪岡体育館利用者数 単位：人	64,725	57,909	45,459	42,187	60,099

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

スポーツ振興施設の運営管理や機能整備等を通じて誰もがスポーツに親しめる環境づくりに取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度から令和4年度までのスポーツ施設利用者数は目標値を下回りました。

また、令和5年度市民意識調査では、この1年間にどれくらいの頻度で運動を行ったかについて「週に3日以上」「週に1~2日」と回答した割合が32.9%となっており、一定の成果を上げています。

※国の第3期スポーツ基本計画（計画期間：R4~R8年度）における政策目標は70%
 県のスポーツ推進計画（計画期間：R5~R9年度）における達成目標は65%

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）
 誰もが気軽にスポーツ活動に参加できる機会の充実や、市民がスポーツ活動に取り組みやすい環境づくりなどを通じて、スポーツ人口の拡大に引き続き取り組む必要があります。

（目指すべき方向性）
 スポーツ人口の増加に向け、スポーツ振興施設等の適切な運営管理や令和8年の国民スポーツ大会開催に向けた青森市宮野球場改修等の機能整備のほか、各施設を活用したスポーツ教室の実施等により、年間を通じて、市民誰もがスポーツに親しめる環境づくりを進めます。

1. 施策の基本情報

基本政策	第2章	ひと創り	主たる担当部局		
政策	第3節	スポーツの推進	経済部		
施策	第2項	スポーツによる地域活性化	関連部局		
			都市整備部・浪岡振興部		

2. 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

地域活性化に向けて、スポーツを通じた交流人口の拡大を図ります。

3. 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況【◎印は青森市総合戦略2020-2024の指標も兼ねる】

指標①	指標の説明	方向	基準値			H30	R1	R2	R3	R4	R5
市内で開催されたスポーツ大会数（東北大会以上）	市内で開催された東北大会以上のスポーツ大会の数	+	H29	26	大会	目標値	26	27	28	30	32
						実績値	37	65	11	12	29

分析	市内で開催されたスポーツ大会数（東北大会以上）は29件となり、目標値を下回りました。	達成度評価	B							
----	--	-------	---	--	--	--	--	--	--	--

指標②	指標の説明	方向	基準値			H30	R1	R2	R3	R4	R5
市内で開催された地域のプロスポーツクラブ等の試合の観客数◎	地域のプロスポーツクラブ等である青森フットボールクラブ、ライオンズFCの市内で開催された試合の観客数	+	H29	31,061	人	目標値	27,000	29,000	31,000	33,000	33,000
						実績値	13,162	12,557	13,392	10,044	22,028

分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、市内で開催された地域のプロスポーツクラブ等の試合の観客数は22,028人となり、目標値を下回りました。	達成度評価	C							
----	--	-------	---	--	--	--	--	--	--	--

指標③	指標の説明	方向	基準値			H30	R1	R2	R3	R4	R5
						目標値					
						実績値					

分析		達成度評価								
----	--	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

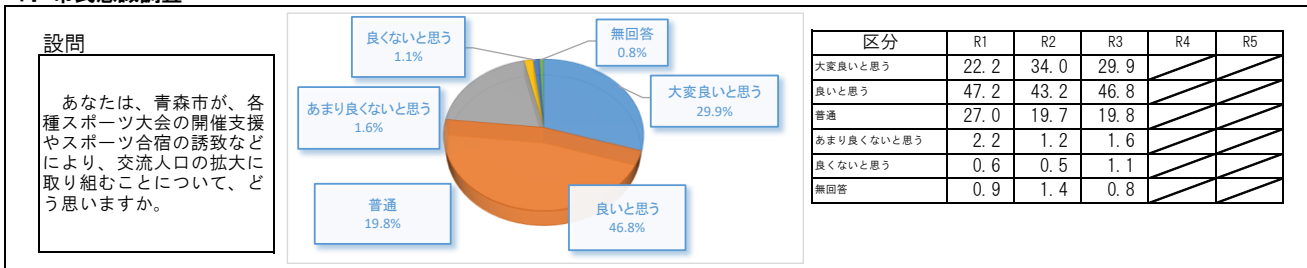
指標④	指標の説明	方向	基準値			H30	R1	R2	R3	R4	R5
						目標値					
						実績値					

分析		達成度評価								
----	--	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

指標⑤	指標の説明	方向	基準値			H30	R1	R2	R3	R4	R5
						目標値					
						実績値					

分析		達成度評価								
----	--	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

4. 市民意識調査



5. 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
スポーツコミッション青森推進事業	13,942	本市のスポーツ情報の発信等を通じて大会の誘致に取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、市内で開催されたスポーツ大会数（東北大会以上）は目標値30件に対して29件となり、目標値を下回りました。	市内で開催されたスポーツ大会数（東北大会以上） 単位：大会	37	65	11	12	29
あおり桜マラソン開催事業	19,499	新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者を青森県内在住者に限定した結果、目標値4,500人に対して1,148人となり、目標値を下回りました。	大会参加者数 単位：件	-	-	-	-	1,148
第80回国民スポーツ大会開催準備事務	2,303	第80回国民スポーツ大会において、本市で開催予定の正式競技14競技の各競技会の開催準備を円滑に進めるため、競技役員等編成や競技用具整備等に係る各種調査を実施するとともに、青森市準備委員会の専門委員会（総務企画、競技式典、宿泊衛生、輸送交通）を開催し、各種基本計画を策定しました。	第80回国民スポーツ大会PR活動数 単位：回	-	-	-	-	-
青森市アリーナプロジェクト推進事業	1,768,343	市民の健康づくりとスポーツ振興、交流人口の拡大及び防災を目的とする拠点として、青森操車場跡地に青森市総合体育館及び青い森セントラルパークの整備を実施しました。	- 単位：-	-	-	-	-	-
青森操車場跡地周辺整備推進事業	252,792	「青森市アリーナプロジェクト」の実施などを踏まえた「青森操車場跡地利用計画」に基づき、操車場跡地の利活用を進めるため、東西用地において、多目的に利用できる広場や緑地、既存道路の拡幅等の整備を実施しました。	- 単位：-	-	-	-	-	-

6. 施策の総合評価（主たる担当部局）

スポーツ大会の開催・合宿の誘致やチーム及び企業等と連携したPR等によりスポーツを通じた交流人口の拡大に取り組んだ結果、令和4年度の指標①「市内で開催されたスポーツ大会数（東北大会以上）」及び指標②「市内で開催された地域のプロスポーツクラブ等の試合の観客数」は増加に転じたものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種スポーツ大会が中止となったことから、令和2年度から令和4年度までは目標値を下回りました。

7. 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）
 スポーツコミッション青森との連携による本市のスポーツ資源を活用したスポーツツーリズムの推進や、市民のスポーツへの関心を高めるための活動などを通じて、より一層スポーツによる地域活性化に取り組む必要があります。

（目指すべき方向性）
 地域活性化に向けて、ダンスを生かしたスポーツ振興、スポーツ大会・合宿誘致支援、地域のプロスポーツクラブ等との交流連携等を実施するなど、スポーツを通じた交流人口の拡大を図ります。

1 施策の基本情報

基本政策	第2章	ひと創り	主たる担当部局 経済部 関連部局 教育委員会事務局
政策	第3節	スポーツの推進	
施策	第3項	競技力の向上	

2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

競技力の向上を図るため、官民連携により、選手の育成と指導者の確保を進めます。

3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
スポーツ賞・スポーツ奨励賞の受賞者数（個人競技）	個人競技でのスポーツ賞・スポーツ奨励賞受賞者数	+	H30 109 人	目標値		111	113	115	117	119
				実績値	109	75	44	67	92	
分析	スポーツ賞・スポーツ奨励賞の受賞者数（個人競技）は92人となり、目標値を下回りました。			達成度評価	B					

指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
スポーツ賞・スポーツ奨励賞の受賞団体数（団体競技）	団体競技でのスポーツ賞・スポーツ奨励賞受賞団体数	+	H30 18 団体	目標値		19	21	23	25	27
				実績値	18	17	14	18	24	
分析	スポーツ賞・スポーツ奨励賞の受賞団体数（団体競技）は24団体となり、目標値を下回りました。			達成度評価	B					

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

4 市民意識調査

設問

あなたは、青森市のスポーツ競技力は総合的に見て高いと思いますか。

無回答	1.1%
大いにそう思う	3.6%
どちらかといえばそう思う	18.9%
どちらともいえない	33.6%
あまりそう思わない	36.6%
全くそう思わない	6.1%

区分	R1	R2	R3	R4	R5
大いにそう思う	3.0	3.2	3.6		
どちらかといえばそう思う	16.6	17.8	18.9		
どちらともいえない	34.3	36.5	33.6		
あまりそう思わない	38.8	36.0	36.6		
全くそう思わない	6.8	5.4	6.1		
無回答	0.7	1.2	1.1		

設問

区分	R1	R2	R3	R4	R5

5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
部活動指導員配置事業	757	部活動指導員の配置により、安定した指導がなされ、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚が図られました。県・東北・全国中学校体育大会で入賞した種目数は一定の数で推移しており、本事業の実施が県・東北・全国中学校体育大会で入賞した種目数の維持に繋がっていると考えます。	県・東北・全国中学校体育大会で入賞した種目数 単位：人	-	-	-	25	20
スポーツ賞表彰事業	31	スポーツ大会等で優秀な成績を収めた者の表彰を通じて市民のスポーツに対する意欲の向上等に取り組んだものの、表彰受賞件数は目標値144件に対して119件となり、目標値を下回りました。	表彰受賞件数 単位：件	129	92	61	86	119
スポーツ推進委員設置事業	1,780	スポーツ推進委員の研修活動への参加や、市民からの派遣依頼に基づくスポーツ指導体制の充実に取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の影響による事業の中止や市民からの派遣依頼数の伸び悩みによりスポーツ推進委員活動回数は目標値1,300回に対して316件となり、目標値を下回りました。	スポーツ推進委員活動回数 単位：回	1,737	1,118	349	338	316
青森市体育・スポーツ競技団体育成強化事業	3,656	各種スポーツ大会への選手派遣のための支援を通じて、市民及び市内競技団体の競技力向上に取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、各大会（県民体育大会・青函対抗総合体育大会・国民体育大会）への選手派遣数は目標値777人に対して252人となり、目標値を下回りました。	各大会（県民体育大会・青函対抗総合体育大会・国民体育大会）への選手派遣数 単位：人	694	760	4	27	252

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

スポーツ大会等で優秀な成績を収めた者の表彰等を通じて市民のスポーツに対する意欲の向上に取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種スポーツ大会が中止となったことから、令和元年度から令和4年度までの指標①「スポーツ賞・スポーツ奨励賞の受賞者数（個人競技）」及び指標②「スポーツ賞・スポーツ奨励賞の受賞者数（団体競技）」は目標値を下回りました。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）
令和8年に開催される第80回国民スポーツ大会に向けて、優秀な指導者の発掘・育成や、小・中学生及び高校生を対象としたスポーツ大会の支援などを通じて、より一層競技力の向上に取り組む必要があります。

（目指すべき方向性）
競技力の向上を図るため、本市スポーツ振興の中心的役割を担う（一財）青森市スポーツ協会への支援の継続など、官民連携による選手の育成と指導者の確保の拡充を図ります。

【行政分野】

健康づくり

【前期基本計画における施策数】 3

- 4-1-1 健康寿命の延伸
- 4-1-2 感染症対策の充実
- 4-1-3 地域医療の充実

1 施策の基本情報

基本政策	第4章	やさしい街	主たる担当部局		
政策	第1節	保健医療の充実	保健部		
施策	第1項	健康寿命の延伸	関連部局		
			税務部・市民病院		

2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

市民の更なる健康寿命の延伸に向け、市民のヘルスリテラシーの向上を図り、生活習慣病の予防と各種健康診査・がん検診等の受診率向上等に戦略的に取り組むとともに、自殺の予防を含めたこころの健康づくりを進めます。

3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況【◎印は青森市総合戦略2020-2024の指標も兼ねる】

指標①	指標の説明	方向	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	R5
がんの標準化死亡率（男性）	全国水準（100）と比較した本市のがんの死亡率	—	H28 124.7	目標値 122.1 実績値 124.8	122.1	121.3	120.5	119.7	118.9
分析	男性のがんの標準化死亡率の実績値は、全国水準と比べ高い状況にあることから、より一層のがん予防対策の取組が必要であると考えます。	達成度評価	未確定						

指標②	指標の説明	方向	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	R5
がんの標準化死亡率（女性）	全国水準（100）と比較した本市のがんの死亡率	—	H28 122.2	目標値 117.1 実績値 124.2	117.1	115.4	113.7	112.0	110.3
分析	女性のがんの標準化死亡率の実績値は、全国水準と比べ高い状況にあることから、より一層のがん予防対策の取組が必要であると考えます。	達成度評価	未確定						

指標③	指標の説明	方向	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	R5
特定保健指導対象者の減少率◎	メタボリックシンドローム該当者及び予備群者の減少の割合（2008年度比）	—	H29 △ 28.1 %	目標値 △ 25.0 実績値 △ 32.8	△ 25.0	△ 25.0	△ 25.0	△ 25.0	△ 25.0
分析	メタボリックシンドローム該当者及び予備群である特定保健指導対象者は、国が示す目標値マイナス25.0%以上を保っていることから、引き続き特定健康診査の受診率・特定保健指導の実施率の向上を図り、今後も生活習慣病予防に向けた取組が必要であると考えます。	達成度評価	未確定						

指標④	指標の説明	方向	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	R5
特定健診受診者の喫煙率	特定健診受診者のうち喫煙している者の割合	—	H29 13.7 %	目標値 12.3 実績値 13.4	12.3	11.6	10.9	10.2	9.7
分析	特定健診受診者のうち喫煙している者の割合は、目標値の10.2と比較して12.7（速報値）となり、目標値には達していないものの、前年度よりも改善傾向にあることから、取組の成果が出ていると考えます。 * 速報値	達成度評価	B						

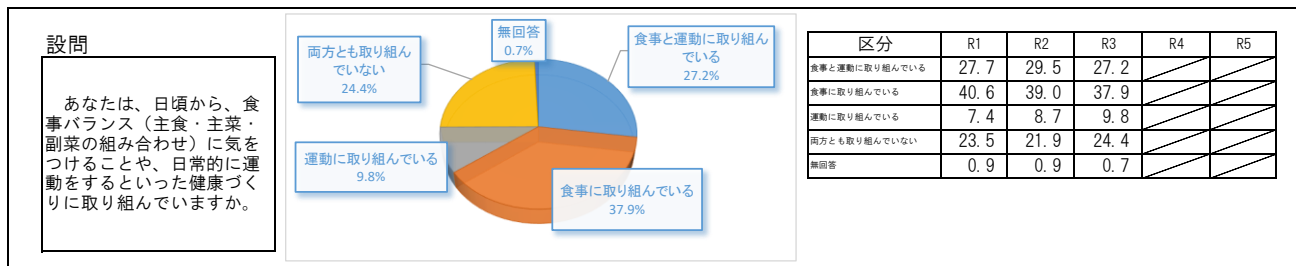
指標⑤	指標の説明	方向	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	R5
自殺による死亡率	人口10万人当たりの自殺者数	—	H29 16.3	目標値 15.8 実績値 19.3	15.8	15.5	15.3	15.0	14.8
分析	人口10万人当たりの自殺者数は前年度より増加しており、新型コロナウイルス感染症による外出の機会や人との接触の機会の減少などの要因が少なからず影響していると考えられることから、今後において自殺予防に向けた更なる取組が必要であると考えます。	達成度評価	未確定						

4 市民意識調査

設問

あなたは現在、習慣的にたばこを吸っていますか。

区分	R1	R2	R3	R4	R5
吸っている	18.2	17.1	15.0	15.0	15.2
以前は吸っていたがやめた	14.2	13.4	16.7	16.8	15.4
吸っていない	66.9	69.2	67.9	67.6	68.3
無回答	0.7	0.3	0.5	0.5	1.1



5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
各種がん検診事業	285,914	継続的に受診勧奨を行ったことにより、51,701人の方が各種がん検診（胃がん・大腸がん・肺がん・子宮頸がん・乳がん・前立腺がん）を受診し、がんの早期発見・早期治療に貢献することができました。	がん検診受診者数 単位：人	59,912	57,733	51,876	52,902	51,701
ヘルステックを核とした健康まちづくりプロジェクト	18,322	「IoTを活用したみまもりサービス事業」については、15名を対象として実施したほか、新たに電力センサーを活用して、「認知機能低下を予測する実証実験」について、59名を対象に実施しました。また、「モビリティを活用した予防サービス事業」については、感染状況を踏まえながら20回開催し、193名に参加いただきました。	予防・みまもりサービス等参加数 単位：人	-	84	93	243	267
健康寿命延伸戦略事業	5,659	本市男性の糖尿病における標準化死亡比は、依然として全国水準を上回る状況にあり、新たな生活様式を踏まえ実施方法を工夫しながら、糖尿病予防に繋がる肥満対策や糖尿病重症化予防対策、これらに関するがん予防対策・たばこ対策に取り組んできました。	糖尿病の標準化死亡比（男性） 単位：-	165.4	172.9	150.0	153.4	未確定
特定健康診査事業	181,687	広報あおもり、町内回覧等を利用した受診の呼びかけ、かかりつけ医への受診勧奨協力依頼、ハガキ、電話による受診勧奨を行いました。	特定健康診査受診率 単位：%	40.7	40.3	36.6	36.4	未確定
特定保健指導事業	4,779	対象者が、利用しやすい指導環境を整え、集団健診当日に保健指導を実施するなど様々な方法で保健指導を実施しました。また勧奨チラシや利用券、勧奨ハガキ送付後の電話勧奨等、タイムリーに利用勧奨を行いました。	特定保健指導実施率 単位：%	44.3	49.1	46.0	43.3	未確定
自殺対策事業	395	地域における自殺予防に向けた対応力の強化を図るため、周囲の人の自殺のサインに気づき・傾聴し・見守り・つなぐ「ゲートキーパー」の養成講座を開催し、市民86人が受講し、地域における自殺対策の強化が図られました。	ゲートキーパー養成講座受講者数 単位：%	71	80	0	27	86

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

新型コロナウイルス感染症対策を万全に講じながら健診・検診を実施し、受診控えの傾向がみられるものの、がん検診の受診者数は回復傾向にあります。市民の健診・検診の受診促進に向け地域や職域と連携した受診勧奨を行い、がん対策事業等に取り組んだ結果、指標となる「がんの標準化死亡比（男性）」指標①は目標値に達成しており、「がんの標準化死亡比（女性）」指標②はわずかに目標値に達しませんでした。引き続き、いずれの事業も施策の方向性であるがん検診等の受診率向上に寄与しています。

「IoTを活用したみまもりサービス事業」及び「モビリティを活用した予防サービス事業」の実施や、地域や職域の団体と連携した肥満・糖尿病対策、特定健康診査対象者への受診勧奨、特定保健指導対象者が保健指導を利用しやすい環境の整備等に取り組んだ結果、指標となる「特定保健指導対象者の減少率」（指標③）は、目標値を達成していることから、いずれの事業も施策の方向性であるヘルスリテラシーの向上、生活習慣病の予防と各種健康診査等の受診率の向上に寄与しています。

地域や職域の団体と連携したたばこ対策等に取り組んだ結果、指標となる「特定健診受診者の喫煙率」（指標④）が、目標値には達していないものの、前年度よりも改善傾向にあることから、施策の方向性である生活習慣病の予防のために寄与しています。

周囲の人の自殺のサインに気づき・傾聴し・見守り・つなぐ「ゲートキーパー」の養成講座を開催すること等によって、地域における自殺対策の強化が図られたものの、指標となる「自殺による死亡率」（指標⑤）が増加していることもあり、引き続き、施策の方向性である自殺の予防を含めたこころの健康づくりのための取組が必要です。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）
 施策評価の結果、がんの標準化死亡比において、目標値は達成しているものの、依然として全国水準より高い状況にあることから、がん検診の受診促進に向け、一層取り組むほか、ヘルステックを核とした健康まちづくりの推進や健康寿命延伸のための「がん対策」「たばこ対策」「肥満・糖尿病対策」、特定保健指導の利用勧奨や、地域における自殺対策等により市民の更なる健康寿命の延伸に向けて、引き続き取り組む必要があります。

（目指すべき方向性）
 市民の更なる健康寿命の延伸に向け、市民のヘルスリテラシーの向上を図り、生活習慣病の予防と各種健康診査・がん検診等の受診率向上等に戦略的に取り組むとともに、自殺の予防を含めたこころの健康づくりを進めます。

1 施策の基本情報

基本政策	第4章	やさしい街	主たる担当部局 保健部
政策	第1節	保健医療の充実	
施策	第2項	感染症対策の充実	
			関連部局 福祉部・市民病院

2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

感染症の予防とまん延防止対策を進めます。

3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	R5
結核罹患率	人口10万人当たりの結核発病者数	-	H29 13.1	目標値	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
				実績値	8.2	4.7	9.5	6.3	7.0
分析	結核罹患率は7.0となり、目標値に達しました。		達成度評価	A					

指標②	指標の説明	方向	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	R5
麻疹・風しん予防接種の接種率	第2期予防接種を受けた子どもの割合	+	H29 95.1 %	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
				実績値	94.9	95.0	95.4	94.6	91.1
分析	麻疹・風しん予防接種の接種率は91.1%となり、目標値を下回りました。		達成度評価	B					

指標③	指標の説明	方向	基準値	H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値					
				実績値					
分析			達成度評価						

4 市民意識調査

設問

あなたは、健康診査等において、結核の早期発見につながる胸部X線（レントゲン）検査を受けていますか。

区分	R1	R2	R3	R4	R5
毎年受けている	56.6				
2〜3年に一度受けている	5.6				
定期的ではないが受けたことがある	23.0				
受けたことがない	14.2				
無回答	0.6				

設問

あなたは、日頃から、感染症対策（予防接種や手洗いやうがい等）に意識的に取り組んでいますか。

区分	R1	R2	R3	R4	R5
いつも取り組んでいる		42.1	53.8	56.3	46.0
どちらかといえば取り組んでいる		43.7	36.7	36.5	41.9
どちらともいえない		8.1	5.6	4.0	6.3
あまり取り組んでいない		5.1	3.1	2.3	3.5
全く取り組んでいない		0.5	0.3	0.3	1.2

5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
新型コロナウイルスワクチン接種事業	1,704,445	令和3年度の12月から集団接種の効率化を図るため、各市民センターで実施していたものをホテル青森の大規模接種に集約し、令和4年度は53回実施しました。	市主催の集団接種実施回数 単位 回	-	-	-	238	53
新型コロナウイルス感染症拡大防止事業	1,523,049	令和4年度はクラスター（集団における5人以上の感染）が94件発生したものの、クラスターが発生した高齢者施設等に医師等の専門家が訪問し、直接感染対策を指導等することにより、同施設における感染の拡大が抑制されたことなどから、一定の効果があったものと考えます。	クラスター発生件数 単位 件	-	-	12	135	94
保育所等における感染拡大防止対策推進事業	49,536	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、保育所等が子ども用マスク、消毒液等の保健衛生用品の購入に要する費用を補助するとともに、職員が感染症対策の徹底を図りながら事業を継続的に実施していくために必要な費用を補助しました。	事業実施保育所等数 単位 箇所	-	102	100	94	99
新型コロナウイルス感染症対策防護具等備蓄事業	762	感染症患者が多く発生する時期等を予測して、必要な物品の備蓄量を調節しており、個人防護具や消毒液等の不足を生じさせませんでした。	不足回数 単位 回	-	-	0	0	0
市民病院・浪岡病院における新型コロナウイルス感染症対策の強化	1,735,958	〔市民病院〕 新型コロナウイルス感染症患者を優先的に受け入れる重点医療機関として、適切なゾーニング対策を実施した入院病棟を確保するとともに、感染防止対策を徹底し、より安全な医療提供体制の構築に取り組みました。 感染症病床を14床、感染拡大時の臨時医療施設を10床設置しました。 （稼働病床数：一般病床352床、感染症病床14床、計366床） 〔浪岡病院〕 新型コロナウイルス感染症疑い患者を優先的に受け入れる協働医療機関として入院病床を確保するとともに、自宅療養を行っているかた、感染の懸念から受診を控えるかたのためにオンライン診療等を推進しました。 （稼働病床数：一般病床34床、感染症疑い患者専用病床1床、計35床）	新型コロナウイルス感染症感染患者入院延患者数 単位 人	0	0	594	1,306	1,973
ヒトパピローマウイルス感染症予防接種事業	56,517	子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス（HPV）の感染を防ぐため、定期接種としてHPVワクチン接種を実施しました。令和4年度は、積極的勧奨を再開し、全対象者へ個別通知を行った結果、接種件数は1,478件となり、前年度よりも増加しました。	ヒトパピローマウイルス感染症予防接種接種件数 単位 件	5	18	89	1,087	1,478
特定感染症検査等事業	7,664	新型コロナウイルス感染症拡大下ではあったものの、令和4年度のエイズ等検査の受検者数は前年度から増加し、特定感染症の早期発見に一定の成果がありました。	エイズ等検査実施者数 単位 人	188	206	104	80	86
感染症予防事業	2,371	令和4年度の健康教育参加人数は1,319人で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等により目標値に到達することはできませんでしたが、R2年度、R3年度の実績を上回りました。	健康教育の参加人数 単位 人	2,201	2,087	1,276	1,098	1319
結核予防事業	5,070	令和4年度の結核患者新規登録者数は19人で前年度と比較し増加したものの、結核の予防啓発の取組等による効果により、一定程度抑制できたものと考えます。	結核患者新規登録者数 単位 人	23	13	26	17	19
麻疹・風しん予防接種事業	38,384	乳幼児の麻疹及び風しんの感染を予防し、発生及びまん延を防止を目的に、指定医療機関において通年で麻疹・風しんの予防接種を行いました。令和4年度の第2期予防接種を受けた子どもの割合は、91.1%となっており、接種目標を概ね達成しました。	第2期予防接種を受けた子どもの割合 単位 %	94.9	95.0	95.4	94.6	91.1

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた取組を推進し、特に新型コロナウイルスワクチン接種については、市主催の集団接種を令和3年度に238回、令和4年度に53回開催するとともに、個別接種や職域接種により、ワクチン接種者数は順調に推移しました。また、結核予防の周知啓発及びまん延防止の取組を着実に進めることにより、結核の予防啓発の取組等による効果により、平成30年度から目標値の10未満で推移しており、施策の感染症対策の充実に大きく寄与しています。

また、麻疹・風しん予防接種の第2期対象者に対しては、保育園・幼稚園・就学時健康診断等を通じた接種勧奨や未接種者への個別通知等を行い、麻疹・風しんの感染予防及びまん延防止を図りました。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）

施策評価の結果及び新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化などを踏まえた、健康教育や研修会などを実施するとともに、感染症が発生した場合には、医療機関などとの連携のもと、迅速かつ的確な対応ができるよう、日頃から備えておく必要があります。

（目指すべき方向性）

市民に対して感染症に関する正しい知識の普及啓発を推進するとともに、定期健康診断や各種定期予防接種を実施するなど、感染症の予防対策を継続的に実施します。また、感染症の発生状況の調査、分析、検査等により、まん延の状態などを把握し、適時適切な情報提供を図り、迅速かつ的確なまん延防止の措置等を実施するよう努めます。

1 施策の基本情報

基本政策	第4章	やさしい街	主たる担当部局			
政策	第1節	保健医療の充実	保健部			
施策	第3項	地域医療の充実	関連部局			
			市民病院			

2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

必要ときに安心して適切な医療を受けることができる環境づくりを進めます。

3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5	
紹介率（市民病院）	初診患者数に占める紹介患者数の割合	+	H29	82.8	%	目標値	82.8	82.8	82.8	82.8	82.8
						実績値	81.7	82.4	82.0	81.4	79.1
分析	紹介率（市民病院）は79.1%となり、目標値を下回りました。										

達成度評価

B

指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5	
逆紹介率（市民病院）	初診患者数に占める逆紹介患者数の割合	+	H29	78.3	%	目標値	78.3	78.3	78.3	78.3	78.3
						実績値	78.1	73.3	81.5	78.5	79.3
分析	逆紹介率（市民病院）は79.3%となり、目標値を上回りました。										

達成度評価

A

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5	
訪問診療件数（浪岡病院）	在宅療養支援病院として、通院が困難な患者に対し訪問診療を行った件数	+	H30	92	件	目標値	139	139	278	278	278
						実績値	96	167	208	306	444
分析	訪問診療件数（浪岡病院）は444件となり、目標値を上回りました。										

達成度評価

A

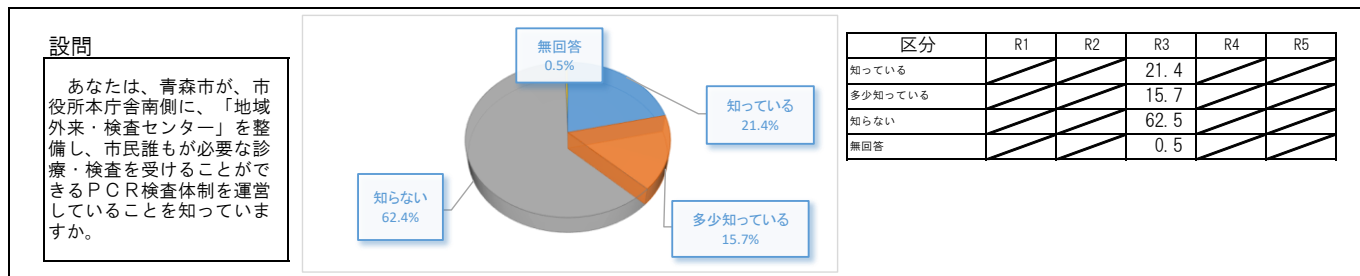
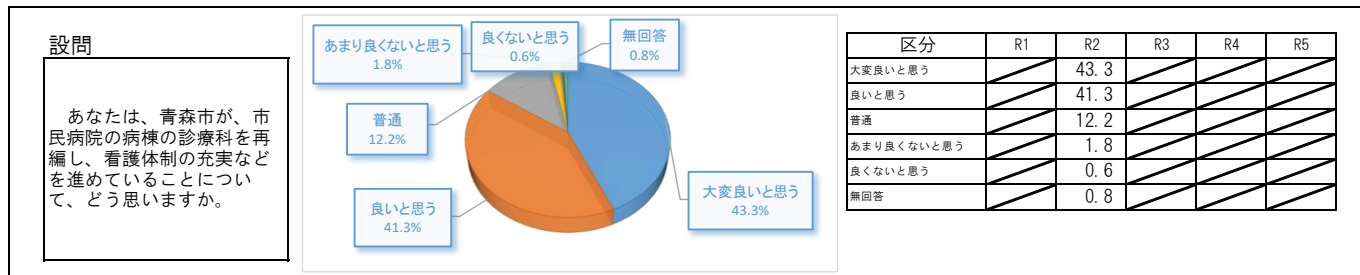
指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
分析										

4 市民意識調査

設問

あなたは、青森市が、市民病院の産科病室の改修や、浪岡病院の建て替え、急病センターの移転・整備など、受診環境の向上を図ることについて、どう思いますか。

区分	R1	R2	R3	R4	R5
大変良いと思う	49.6				
良いと思う	39.3				
普通	9.4				
あまり良くないと思う	0.5				
良くないと思う	0.3				
無回答	0.9				



5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
共同経営・統合新病院整備検討事業負担金	1,000	病院運営等に精通した専門家（コンサル）から助言等を受けながら、共同経営・統合新病院に係る基本構想・計画の検討体制や策定項目等を整理するなど基本構想・計画の策定に向けた事前準備を行いました。	-	-	-	-	-	-
浪岡病院利用促進事業	33	浪岡病院及び浪岡振興部の職員等で構成する浪岡病院利用促進委員会を設置し、浪岡病院の利用促進対策についての意見を踏まえ、①浪岡病院の認知度・イメージアップ、②病院の利用促進と新型コロナウイルス対策の継続、③浪岡地区における健康づくりの推進に取り組みしました。	外来患者数	35,685	31,526	27,588	32,765	31,834
地域外来・検査センター運営事業	174,904	「地域外来・検査センター」において、発熱など新型コロナウイルス感染症が疑われる市民の方が、診療・PCR（抗原）検査を受けることができる体制を運営しました。	診療日数	-	-	283	365	365
骨髄ドナー普及啓発助成事業	290	広報等により助成金制度の周知に努めた結果、2件の交付実績があったことから、ドナーとなった方が骨髄提供しやすい環境づくりが進みました。	助成件数	-	-	1	1	2
医師確保対策特別事業	7,566	令和4年5月1日現在、医師修学支援制度利用者198名のうち188名が県内各自治体病院に所属しており、県内における医師不足の解消に成果がありました。	県内各自治体病院に勤務する制度利用者	183	153	163	170	188
病院群輪番制病院事業	21,703	二次救急医療施設が年間を通して確保されており、令和4年度における二次輪番日の患者（青森県立中央病院を除く）6,801人に、時間外救急医療が提供されました。 ※二次輪番日の総患者数（青森県立中央病院を除く） 令和2年度6,635人 令和3年度7,411人 令和4年度6,801人	病院群輪番制病院診療日数	365	366	365	365	365

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

市民病院は、新型コロナウイルス感染症に係る重点医療機関としての役割、地域医療支援病院としての役割、救急医療への対応など、通常医療と感染症医療を両立しながら医療提供体制の維持に努めてきました。令和4年度の紹介率は目標値をやや下回りましたが、逆紹介率は目標値を上回りました。また、浪岡病院は、オンライン診療等に積極的に取り組んでいるほか、訪問診療件数は目標件数を上回り、浪岡地区の地域包括ケアシステムの中核としての役割を果たせるよう努めています。

令和2年6月から地域外来・検査センターを開設し、予約不要で毎日19時から22時まで診療・検査を行うことができる体制を整え、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めています。

令和2年度から開始した骨髄ドナー普及啓発事業により、骨髄の提供に関する情報発信及びドナー登録の普及啓発を図るとともに、ドナーやドナーの勤務する事業所に対し助成を行うことで骨髄提供しやすい環境づくりに寄与しています。

病院群輪番制病院事業により、入院が必要な中・重症患者に対応する二次救急医療施設が年間を通して確保されていることから、市民が適時適切な医療を受けることができる環境が整えられているものと考えます。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）

市民病院では、平時からの感染症対応に取り組むとともに、安全で良質な医療の提供と信頼される病院を目指して病院機能の改善に取り組むほか、青森県と青森市の共同経営・統合新病院整備について、令和4年8月に取りまとめた「共同経営・統合新病院整備に係る基本的事項」に従い、令和5年度中を目途に、共同経営・統合新病院に係る基本構想・計画を策定する必要があります。浪岡病院では、訪問診療やオンライン診療等も継続しつつ、地域のかかりつけ医として、また、「ヘルステックを核とした健康まちづくりプロジェクト」の拠点としての機能をより発揮できるように取り組んでいく必要があります。

感染症対策を講じつつ、必要な方に必要な医療が提供できるよう、適時適切な受診行動ができる環境づくりや救急医療体制の充実を図る必要があります。

（目指すべき方向性）

必要なときに安心して適切な医療を受けることができる環境づくりを進めます。

【行政分野】

障がい者福祉

【前期基本計画における施策数】 2

- 4-3-1 障がいのあるかたの地域生活支援の充実
- 4-3-2 障がいのあるかたの自立した生活の確保

1 施策の基本情報

基本政策	第4章	やさしい街	主たる担当部局 福祉部 関連部局 保健部
政策	第3節	障がい者福祉の充実	
施策	第1項	障がいのあるかたの地域生活支援の充実	

2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

障がい及び障がいのあるかたに対する市民の理解を深め、障がいのあるかたが地域で安心した暮らしができるとともに、ニーズに応じた福祉サービスを受けることができる環境づくりを進めます。

3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5																					
障がい者福祉に関する相談者数	障がいのあるかたからの相談実人数	+	H29 1,751 人	目標値		1,870	1,899	1,928	1,958	1,989																					
				実績値	1,698	1,516	1,611	1,651	1,636																						
分析	障がい者福祉に関する相談者数は1,636人となり、目標値を下回りました。			達成度評価	<p>障がい福祉に関する相談者数</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> <tr><td>H30</td><td>1,698</td><td>1,870</td></tr> <tr><td>R1</td><td>1,516</td><td>1,899</td></tr> <tr><td>R2</td><td>1,611</td><td>1,928</td></tr> <tr><td>R3</td><td>1,651</td><td>1,958</td></tr> <tr><td>R4</td><td>1,636</td><td>1,989</td></tr> <tr><td>R5</td><td></td><td></td></tr> </table>						年度	実績値	目標値	H30	1,698	1,870	R1	1,516	1,899	R2	1,611	1,928	R3	1,651	1,958	R4	1,636	1,989	R5		
年度	実績値	目標値																													
H30	1,698	1,870																													
R1	1,516	1,899																													
R2	1,611	1,928																													
R3	1,651	1,958																													
R4	1,636	1,989																													
R5																															

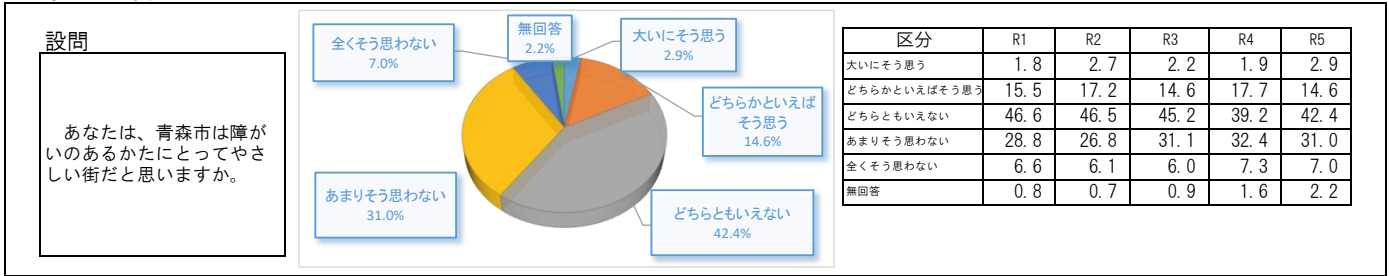
指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5																					
生活支援のための障害福祉サービスの利用者数	訪問系サービス、日中活動系サービスにおける延べ利用者数	+	H29 33,633 人	目標値		40,104	43,104	46,248	49,620	53,196																					
				実績値	34,460	36,040	36,718	37,472	38,350																						
分析	生活支援のための障害福祉サービスの利用者数は38,350人となり、目標値を下回りました。			達成度評価	<p>生活支援のための障害福祉サービスの利用者数</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> <tr><td>H30</td><td>34,460</td><td>40,104</td></tr> <tr><td>R1</td><td>36,040</td><td>43,104</td></tr> <tr><td>R2</td><td>36,718</td><td>46,248</td></tr> <tr><td>R3</td><td>37,472</td><td>49,620</td></tr> <tr><td>R4</td><td>38,350</td><td>53,196</td></tr> <tr><td>R5</td><td></td><td></td></tr> </table>						年度	実績値	目標値	H30	34,460	40,104	R1	36,040	43,104	R2	36,718	46,248	R3	37,472	49,620	R4	38,350	53,196	R5		
年度	実績値	目標値																													
H30	34,460	40,104																													
R1	36,040	43,104																													
R2	36,718	46,248																													
R3	37,472	49,620																													
R4	38,350	53,196																													
R5																															

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

4 市民意識調査



設問

区分	R1	R2	R3	R4	R5

5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
障害者相談支援事業	31,451	障害者相談支援事業を実施し、延べ相談者数（実人数）は1,183人となっています。	障がい者福祉に関する相談者数 単位：人	1,248	1,137	1,141	1,164	1,183
障がい者に対する理解を深めるための啓発事業	2,160	児童等が障がいのあるかたに対する理解を深める啓発事業を実施し、受講した児童等の数は462人となっています。	保育所等訪問事業受講者数 単位：人	-	-	225	127	462
日常生活用具給付事業	85,361	障がい者等が安心して日常生活や社会生活を送るため、日常生活用具等を給付した件数は7,559件となっています。	日常生活用具給付件数 単位：件	8,004	7,840	7,593	7,877	7,559
障がい福祉に関する相談事業	34,574	障害者相談支援事業、障害児等療育支援事業、精神保健福祉相談事業を実施し、相談実人数は1,636人となっています。	障がい者福祉に関する相談者数 単位：人	1,698	1,516	1,611	1,651	1,636
生活支援のための障がい福祉事業	6,419,989	身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者・難病患者等・障がい児のかたに対して、訪問系サービス、日中活動系サービスの提供を行い、延べ利用者数は38,350人となっています。	日中活動系サービス等を提供した延べ人数 単位：人	34,460	36,040	36,718	37,472	38,350
障がい者虐待防止対策支援事業	531	虐待防止のため、障がい者虐待防止センターにおいて対応した件数は、39件となっています。	虐待通報受理件数 単位：件	42	19	19	27	39

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

指標①障がい者福祉に関する相談者数は、1,636人と目標値に達していないものの、令和元年度から年々増加しており、また、令和3年度からは圏域毎に支援体制強化の取組を行うことで障がいのあるかたが必要としている相談に対応できていることから、施策の方向性である障がいのあるかたの地域での安心した暮らしができる環境づくりに寄与しています。

指標②生活支援のための障害福祉サービスの利用者数は、38,350人と目標値に達していないものの、令和元年度から年々増加しており、訪問系サービス、日中活動系サービス、就労系サービスの提供や補装具、日常生活用具の給付などを通じ、施策の方向性である障がいのあるかたの地域での安心した暮らしや、障がいのあるかたがニーズに応じた福祉サービスを受けることができる環境づくりに寄与しています。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）
 施策評価の結果を踏まえ、三世代が障がい者で構成される世帯の虐待事案など複雑な課題のケースが増加していることから、より一層、地域の相談支援事業所との協力体制を築き、障がいのあるかたや家族等を支援することにより、障がいのあるかたのニーズに応じた福祉サービスが受けられるよう、地域で安心した暮らしができる環境づくりに取り組む必要があります。

（目指すべき方向性）
 相談支援体制の充実に向け、市が委託する相談支援事業所や特定相談支援事業所等の地域の協力体制の構築を進めるとともに、その取りまとめ役となる相談支援の中核的役割を担う基幹相談支援センター機能の整備について検討等を行い、相談支援体制の充実・強化を図り、障がいのあるかたのニーズや特性に応じたきめ細やかな障害福祉サービスを提供します。

1 施策の基本情報

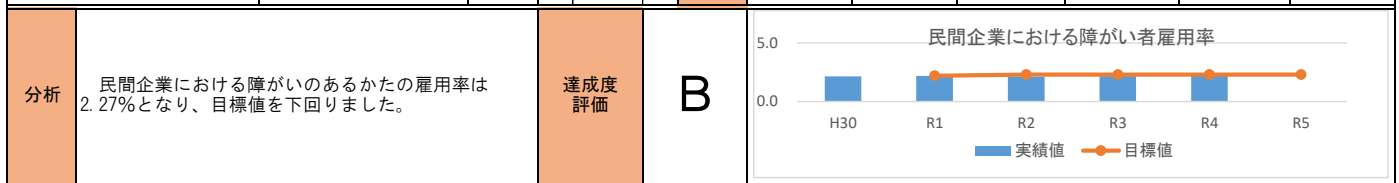
基本政策	第4章	やさしい街	主たる担当部局		
政策	第3節	障がい者福祉の充実	福祉部		
施策	第2項	障がいのあるかたの自立した生活の確保	関連部局		
			経済部		

2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

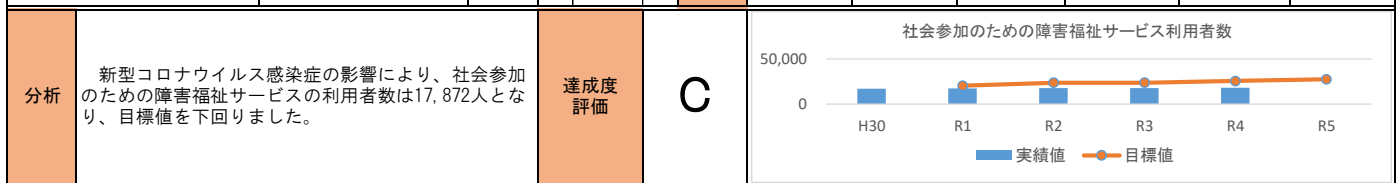
障がいのあるかたの就労の促進や雇用率の向上を図り、生きがいをもち社会参加できる環境づくりを進めます。

3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況【◎印は青森市総合戦略2020-2024の指標も兼ねる】

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
民間企業における障がい者の雇用率◎	青森公共職業安定所管内の障がい者雇用が義務付けられている民間企業における、雇用している従業員数に占める、障がいのあるかたの割合	+	H29 2.02 %	目標値		2.20	2.25	2.30	2.30	2.30
				実績値	2.14	2.18	2.11	2.17	2.27	



指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
社会参加のための障害福祉サービスの利用者数	行動支援、同行支援、外出介護サービス、手話通訳者派遣、契約筆記者派遣、就労移行・就労継続、就労定着支援における延べ利用者数	+	H29 16,475 人	目標値		20,168	21,869	23,618	25,451	27,344
				実績値	16,795	17,366	17,820	17,570	17,872	



指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						

分析				達成度評価						
----	--	--	--	-------	--	--	--	--	--	--

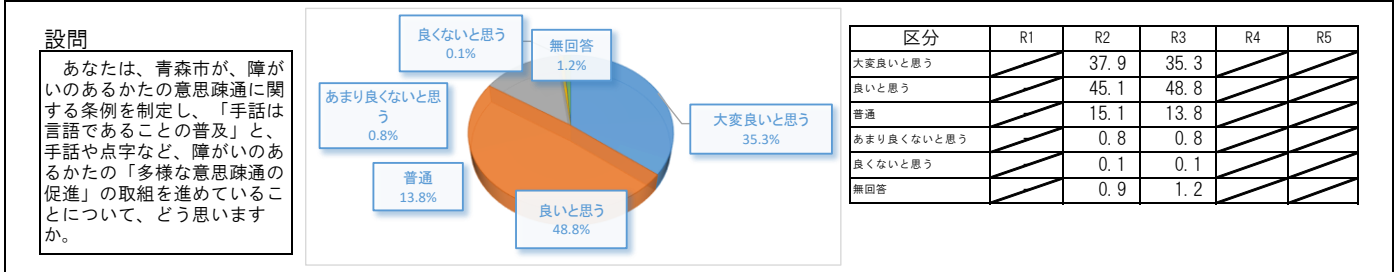
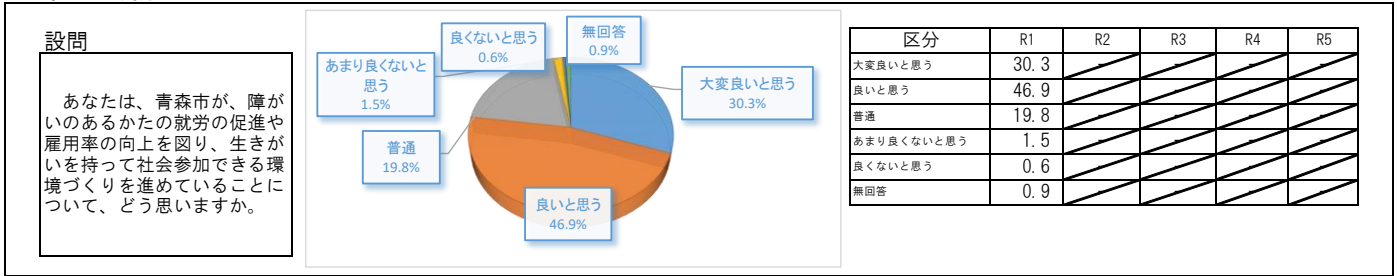
指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						

分析				達成度評価						
----	--	--	--	-------	--	--	--	--	--	--

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						

分析				達成度評価						
----	--	--	--	-------	--	--	--	--	--	--

4 市民意識調査



5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
外出介護サービス事業	20,591	外出時において困難のある障がい者等に対して、公的機関や医療機関等へ赴くため、又は公的施策によって行われる研修、講座等出席のための外出の際に、ホームヘルパーを派遣し、外出の際の支援を行った結果、延べ利用者数は894人となっています。	利用者数 単位：人	1,392	1,235	1,155	907	894
障がいのある方の社会参加・交流推進事業	5,809	障がいのあるかたの社会参加の推進と福祉の増進を図るため、青森市総合福祉センター2階において、障がいのあるかたが誰でも気軽に利用し、気軽に相談や親睦を深めることができるようパソコン教室の実施やサークル活動・研修活動等への場の提供等を行い、延べ利用者数は6,013人となっています。	利用者数 単位：人	-	-	-	4,065	6,013
手話通訳者養成研修事業（連携）	2,372	令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大前の受講者数に戻り、多くの手話通訳者の養成に貢献しています。	各研修修了者数 単位：人	32	32	25	35	32
社会参加のための障がい者福祉事業	25,942	障がいのあるかた等に対して、外出時の移動等に必要な日中活動系サービスの提供や意思疎通の際に必要な手話通訳者・要約筆記者の派遣を行い、延べ利用者数は3,126人となっています。	行動援護、同行援護、外出介護サービス、手話通訳者派遣、要約筆記者派遣における延べ利用者数 単位：人	3,581	3,393	3,411	3,117	3,126
障がい者雇用促進事業	292	市内企業の障がい者雇用への意識を変えるファーストステップ（きっかけ作り）に向けた取組として、補助金の交付やセミナー等に取り組んだ結果、青森公共職業安定所管内における障がい者の雇用率は2.27%と、目標の2.3%には達しないものの、目標達成率99%と、市内企業に向けた意識啓発と雇用率の向上について成果が得られています。	民間企業における障がい者の雇用率 単位：%	2.14	2.18	2.11	2.17	2.27

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

市内の民間企業に向け、障がい者雇用に関するセミナーや短期職場実習（インターンシップ）などに取り組んだ結果、指標①令和4年度における「民間企業における障がい者の雇用率」の目標値に対する達成度は99%となり、令和5年度の目標値である2.30%にむけて順調に推移していることから、いずれの事業も施策の方向性である障がいのあるかたの就労の促進や雇用率の向上に寄与しています。

障がいのあるかた等の社会参加に向け、外出介護サービスや手話通訳者派遣等に取り組んだ結果、指標②令和4年度における「社会参加のための障害福祉サービスの利用者数」は新型コロナウイルス感染症による外出自粛等の影響があった中で17,725人となり、目標値に達しなかったものの基準値を上回っており、施策の方向性である障がいのあるかたの就労の促進や生きがいを持って社会参加できる環境づくりに寄与しています。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）
 施策評価の結果を踏まえ、障がいのあるかたの自立した生活を確保するために、障がい者雇用の促進、外出時の移動等の支援となる行動援護等及び意思疎通の支援となる手話通訳者等の養成等に引き続き取り組む必要があります。

また、障害者差別解消法の一部を改正する法律が令和6年4月1日から施行され、障がいのあるかたに対する事業所の合理的な配慮の提供が義務化されることから、事業者に対する周知啓発や支援に取り組む必要があります。

（目指すべき方向性）
 障がいのあるかたのニーズや特性に応じた就労の促進、障がいのあるかたの有無に関わらず誰もが互いに意思を伝え合い、理解し合える意思疎通支援、障がいの特性に応じた外出時における移動支援など、障がいのあるかたが積極的に社会参加できる環境づくりを進めます。

【行政分野】

高齢者福祉

【前期基本計画における施策数】 2

- 4-2-1 地域包括ケア・生きがいづくりの推進
- 4-2-2 適正な介護サービスの提供

1 施策の基本情報

基本政策	第4章	やさしい街	主たる担当部局 福祉部 関連部局 浪岡振興部
政策	第2節	高齢者福祉の充実	
施策	第1項	地域包括ケア・生きがいづくりの推進	

2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

高齢者が住み慣れた地域で安心して自立した暮らしができるとともに、医療、介護、介護予防、住まい及び日常生活の支援が包括的に確保され、生きがいを持って社会参加できる環境づくりを進めます。

3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況【◎印は青森市総合戦略2020-2024の指標も兼ねる】

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5		
地域包括ケアのネットワークに加わった関係者数	地域ケア会議を通じて地域包括ケアのネットワークに加わった関係者の延べ人数	+	H29	2,071	人	目標値		1,961	2,078	2,250	2,501	2,867
						実績値	2,371	2,165	1,607	1,655	1,702	
分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、地域包括ケアのネットワークに加わった関係者数は1,702人となり、目標値を下回りました。			達成度評価	C							

指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5		
「つどいの場」を週1回以上開催している地区社会福祉協議会数◎	「つどいの場」を週1回（年間48回）以上開催している地区社会福祉協議会の数	+	H29	6	地区	目標値		14	20	26	32	38
						実績値	10	15	14	1	18	
分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、「つどいの場」を週1回以上開催している地区社会福祉協議会数は18地区となり、目標値を下回りました。			達成度評価	C							

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
					目標値					
					実績値					
分析				達成度評価						

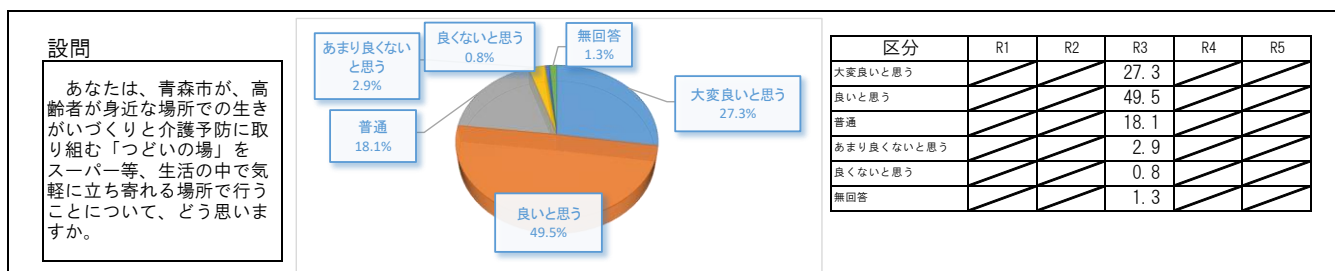
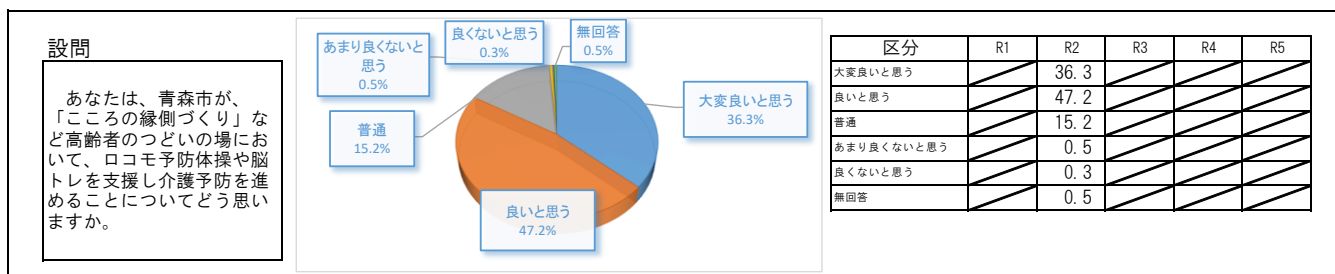
指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
					目標値					
					実績値					
分析				達成度評価						

4 市民意識調査

設問

あなたは、青森市は高齢者にとってやさしい街だと思いますか。

区分	R1	R2	R3	R4	R5
大いにそう思う	3.4	4.1	2.8	3.0	4.4
どちらかといえばそう思う	22.4	26.9	24.1	26.3	24.5
どちらともいえない	38.3	38.8	38.5	33.9	35.4
あまりそう思わない	27.8	24.5	27.2	28.9	27.6
全くそう思わない	7.3	5.4	6.9	6.5	6.0
無回答	0.9	0.3	0.6	1.4	2.1



5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
こころの縁側づくり事業	7,956	感染防止対策を講じた開催マニュアルの周知や保健師による手指消毒の実践指導など、つどいの場の再開に向けた支援を行うことで、週1回以上開催した地区社会福祉協議会は18地区となりました。	「つどいの場」を週1回（年間48回）以上開催している地区社会福祉協議会の数 単位：地区	10	15	14	1	18
地域ケア会議推進事業	122	令和3年度から介護予防・重症化防止の視点から、専門職が心身機能の改善に向けたアドバイスを行う自立支援型会議を開催するなど、地域ケア会議の充実を図り、115回の地域ケア個別会議を開催しました。	地域ケア個別会議の開催回数 単位：回	144	130	125	125	115
高齢者等見守り体制確保事業（連携）	52	「高齢者等の見守り活動の手引き」の周知や青森圏域連携中核都市圏内における行方不明高齢者等の情報共有の取組などにより、帰宅困難高齢者等の事前登録件数は、350件となりました。	帰宅困難高齢者等の事前登録件数 単位：件	-	87	147	261	350
包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	106,939	地域ケア会議を通じて地域包括ケアのネットワークに加わった関係者の延べ人数は1,702人であり、地域において高齢者への支援の充実や社会基盤の整備を図ることにより、連携・協働の体制が強化されました。	地域包括ケアのネットワークに加わった関係者数 単位：人	2,371	2,165	1,607	1,655	1,702
在宅医療・介護連携推進事業（連携）	74	新型コロナウイルス感染症の影響により、医療・介護等の多職種の関係者が連携を図るための研修をオンデマンド配信で開催し、110人が参加しました。	研修参加者数 単位：人	180	135	127	182	110
認知症総合支援事業	616	広報あおもりや市ホームページ、チラシ等を活用したほか、認知症に関するフォーラムを開催し、相談窓口の周知や認知症に関する知識の普及・啓発を行ったことにより、認知症の相談窓口を知っている割合は29.0%となりました。	認知症の相談窓口を知っている割合 単位：%	-	27.8	27.8	27.8	29.0

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

新型コロナウイルスの影響により、指標の実績値は目標値を下回ったものの、地域ケア会議の開催による地域包括ケアネットワークの構築や地区・住民の主体的な取組による高齢者のつどいの場づくりは着実に進んでおり、施策である「地域包括ケア・生きがいがづくりの推進」に寄与しているものと考えます。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）
一人暮らし高齢者世帯の増加や認知症高齢者の増加等の現状を踏まえ、地域包括支援センターや各種団体等と連携し、介護予防・生きがいがづくりの推進や地域包括ケアの推進に係る各種事業の推進により、高齢者が住み慣れた地域で安心して自立した暮らしができるとともに、生きがいを持って社会参加できる環境づくりの整備に引き続き取り組む必要があります。

（目指すべき方向性）
高齢者が住み慣れた地域で安心して自立した暮らしができるとともに、医療、介護、介護予防、住まい及び日常生活の支援が包括的に確保され、生きがいを持って社会参加できる環境づくりを進めます。

1 施策の基本情報

基本政策	第4章	やさしい街	主たる担当部局			
政策	第2節	高齢者福祉の充実	福祉部			
施策	第2項	適正な介護サービスの提供	関連部局			
			-			

2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

介護を必要とする高齢者が介護保険サービスを安心して利用できる環境づくりを進めます。

3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
地域ケア会議（ケアプラン検証会議）実施率	生活援助の訪問回数が多いケアプランの届出件数のうち、地域ケア会議（ケアプラン検証会議）で検討した件数の割合	+	H30 100 %	目標値	100	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	-	-	-	-
分析	ケアプラン検証会議で検証するケアプラン、いわゆる通常の利用状況からかけ離れた利用回数となっているケアプランの届出はありませんでしたが、対象となるケアプランがなかったことは、利用者に対して自立支援・重度化防止に資する適正な介護サービスが提供されたものと考えます。		達成度評価	-	<p>地域ケア会議実施率</p> <p>■ 実績値 ● 目標値</p>					

指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析			達成度評価							

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析			達成度評価							

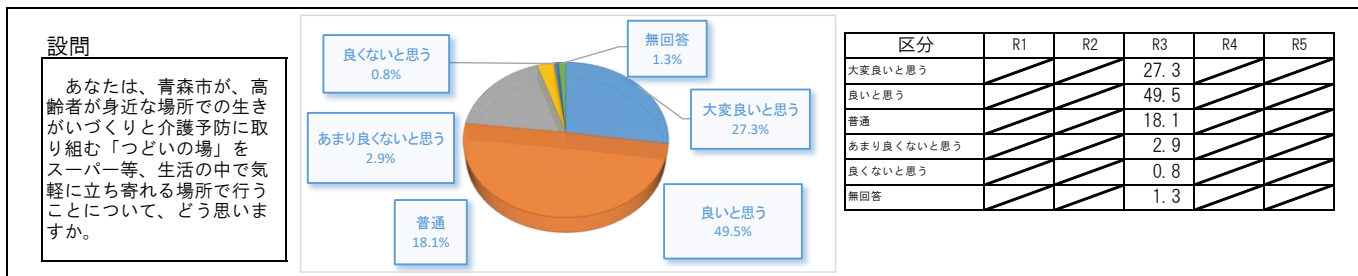
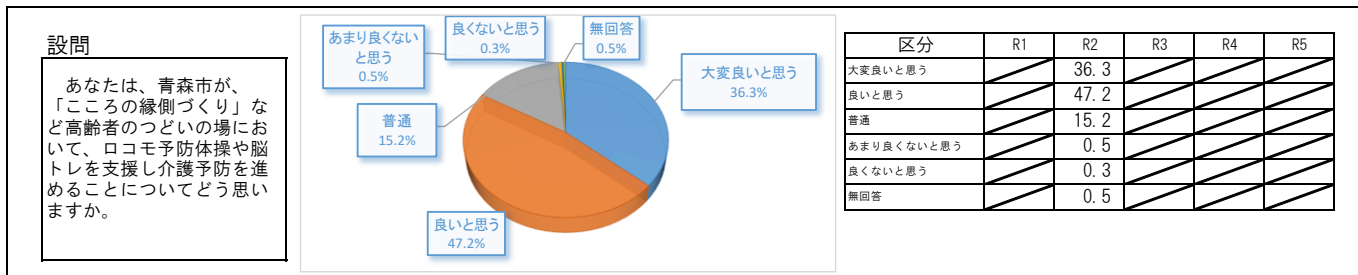
指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析			達成度評価							

4 市民意識調査

設問

あなたは、青森市が、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で安心して自立した日常生活を送るための取組を進めていることについてどう思いますか。

区分	R1	R2	R3	R4	R5
大変良いと思う	31.4				
良いと思う	45.5				
普通	18.9				
あまり良くないと思う	2.2				
良くないと思う	0.9				
無回答	1.2				



5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
老人福祉施設整備費補助金交付事務	40,972	老人福祉施設の整備の促進を図るため、市が必要と認める老人福祉施設の整備に係る経費の一部について、県の補助金制度を活用し、施設整備等の補助金を交付しました。	補助金交付件数 単位：件	3	6	3	2	2
施設開設準備経費補助金交付事務	15,102	市が必要と認める地域密着型サービス事業所等の開設に当たり、事業者に対し、開設準備に係る経費の一部について補助金を交付することにより、開設時から安定した質の高いサービスを提供するための体制整備を支援しました。	補助金交付件数 単位：件	1	3	2	2	1
介護保険認定調査事業	141,564	介護保険サービスを必要とする被保険者が介護保険サービスを適正かつ迅速に利用することができるよう、申請に基づき17,351件の要介護認定をしました。	要介護認定件数 単位：件	17,595	16,701	15,349	16,805	17,351
介護サービス適正実施指導事業	3,454	ケアマネジャー等を対象とした自立支援・重度化防止に資するケアマネジメントを支援するための研修会（web研修）に264人が参加し、介護給付等対象サービスの質の向上及び利用者の保護に資することができました。	ケアマネジメント研修受講者数 単位：人	190	89	330	204	264
			単位：件					

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

平成30年10月に地域ケア会議（ケアプラン検証会議）の実施体制を整備し、介護サービスの適正化を強化したほか、地域密着型サービスの整備等に取り組んだ結果、介護保険サービスを安心して利用できる環境づくりが図られています。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）
地域ケア会議（ケアプラン検証会議）やケアマネジメント研修等の自立支援・重度化防止に資するケアマネジメント支援のほか、地域密着型サービスの整備の促進等により、介護を必要とする高齢者が介護保険サービスを安心して利用できる環境づくりに引き続き取り組む必要があります。

（目指すべき方向性）
各日常生活圏域の特性を踏まえ、介護を必要とする高齢者が介護保険サービスを安心して利用できる環境づくりを進めます。

【行政分野】

男女共同参画

【前期基本計画における施策数】 1

3-3-1 男女共同参画の推進

1 施策の基本情報

基本政策	第3章	まち創り	主たる担当部局		
政策	第3節	ユニバーサル社会の形成	市民部		
施策	第1項	男女共同参画の推進	関連部局		
			-		

2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

全ての人が互いに支え合いながら対等に参画できる、男女共同参画社会の形成を促進します。

3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値			H30	R1	R2	R3	R4	R5
市の附属機関における女性委員の割合	法律または条例の定めにより設置された市の附属機関の委員に占める女性の割合	+	H30	20.03	%	目標値	22.00	30.00	30.00	30.00	30.00
						実績値	20.03	21.92	24.06	25.79	26.29
分析	市の附属機関における女性委員の割合は26.29%となり、目標値を下回りました。			達成度評価	B						

指標②	指標の説明	方向	基準値			H30	R1	R2	R3	R4	R5
						目標値					
						実績値					
分析				達成度評価							

指標③	指標の説明	方向	基準値			H30	R1	R2	R3	R4	R5
						目標値					
						実績値					
分析				達成度評価							

指標④	指標の説明	方向	基準値			H30	R1	R2	R3	R4	R5
						目標値					
						実績値					
分析				達成度評価							

指標⑤	指標の説明	方向	基準値			H30	R1	R2	R3	R4	R5
						目標値					
						実績値					
分析				達成度評価							

4 市民意識調査

設問

あなたは、青森市は男女共同参画の環境・意識が職場や家庭に浸透している街だと思いますか。

大いに思う	0.9%
どちらかといえば思う	10.2%
どちらともいえない	37.7%
あまりそう思わない	39.4%
全くそう思わない	9.7%
無回答	2.1%

区分	R1	R2	R3	R4	R5
大いに思う	0.9	1.2	1.3	0.7	0.9
どちらかといえば思う	10.7	12.2	10.1	10.9	10.2
どちらともいえない	38.6	37.7	37.3	36.9	37.7
あまりそう思わない	38.1	36.8	40.0	39.9	39.4
全くそう思わない	11.3	11.3	10.5	10.0	9.7
無回答	0.5	0.9	0.8	1.6	2.1

設問

区分	R1	R2	R3	R4	R5

5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
男女共同参画プラザパートナーシップ促進事業	8,812	男女共同参画社会の形成を促進するため、カダール（男女共同参画プラザ）を拠点として、啓発講座等を開催しました。啓発講座等の参加者数は、目標値の7,262人を上回り、7,707人となりました。	啓発講座等への参加者数 単位：人	7,950	7,874	3,949	1,770	7,707
男女共同参画社会形成促進事業（連携）	312	男女共同参画社会の形成を促進するため、男女共同参画情報紙及び男女共同参画啓発小冊子を配布・掲示しました。配布・掲示箇所数は、目標値の488箇所を上回り、512箇所となりました。	男女共同参画情報紙等の配布・掲示箇所数 単位：箇所	764	754	488	515	512

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

改選を迎える附属機関の所管課に対し、文書での依頼や事前ヒアリングを通じて女性委員の登用に取り組んだ結果、令和4年度の「市の附属機関における女性委員の割合」は26.29%となり、上昇傾向にあることから、施策の方向性である男女共同参画の推進に寄与しています。

また、市民意識調査では、回答者の約半数が男女共同参画の環境・意識が職場や家庭に浸透していないと回答していることから、継続した取組が必要です。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）
市民意識調査について、依然として男女共同参画の環境・意識が職場や家庭に浸透していないと感じている市民が多いという結果を踏まえ、カダール（男女共同参画プラザ）等を拠点として男女共同参画に関する啓発講座や情報発信等を行うとともに、男女共同参画情報紙「アンジュール」や小・中学生向け啓発小冊子などの媒体を通じて、引き続き、男女共同参画の理解促進に取り組む必要があります。

（目指すべき方向性）
全ての人が互いに支え合いながら対等に参画できる、男女共同参画社会の形成を促進します。

【行政分野】

防災・雪対策

(地域防災・克雪対策)

【前期基本計画における施策数】 2

5-1-1 市民防災の促進

5-1-3 克雪体制の整備

1 施策の基本情報

基本政策	第5章	つよい街	主たる担当部局		
政策	第1節	防災体制・雪対策の充実	総務部		
施策	第1項	市民防災の促進	関連部局		
			広域事務組合		

2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

災害時において、市民の生命と財産を守るため、官民一体となった自助・共助・公助による地域防災体制の強化を図ります。
 また、災害時における迅速かつ適切な避難行動・避難所運営のため、民間団体・地域・NPOなどボランティアとのネットワークを活かし、専門的な知識を有する人材の確保を図ります。

3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
防災訓練や研修の実施回数	自主防災組織が行う防災に係る訓練や研修の実施回数	+	H29 82 件	目標値		88	91	94	97	100
				実績値	281	191	258	159	173	



指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
自主防災組織結成町(内)会数	自主防災組織を結成した町会・町内会の数	+	H30 187 町(内)会	目標値		193	199	205	211	217
				実績値	189	189	195	196	197	



指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						

分析		達成度評価								

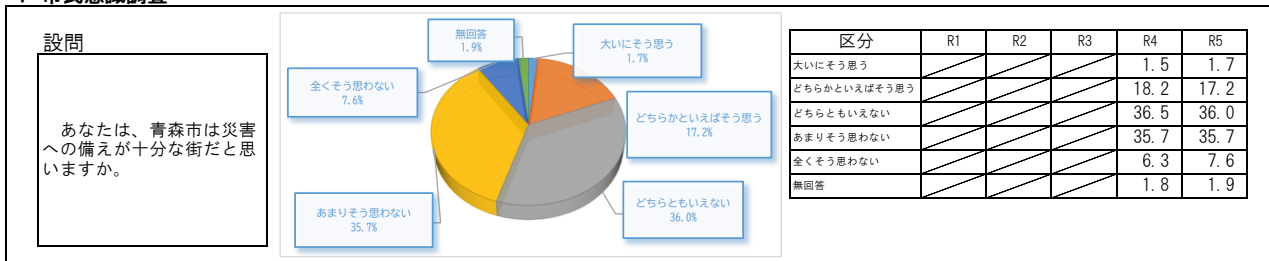
指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						

分析		達成度評価								

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						

分析		達成度評価								

4 市民意識調査



5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
防災対策事業	114,566	自然災害への迅速な応急復旧措置に対応しました。	災害発生時における二次災害防止のための災害応急措置実施率 単位 %	-	-	-	100	100
防災拠点機能整備事業	4,859	令和2年度から新たな備蓄目標を設定したところであり、目標量の充足に向け計画的に取り組んだ結果、90.7%（対前年+14.2）の充足率となっています。	令和元年度に新たに設定した備蓄目標（アルファ米、乾エビ、液体ミルク）の目標量に対する現在の食料の備蓄量の充足率 単位 %	-	-	62.4	76.5	90.7
消防団員報酬等支給事務	180,433	災害時には地域防災の中核として市民の安全を守るため活動する消防団員に対し支給する報酬等について、消防庁から初めて基準額が示されたことから、青森市の報酬単価を国の基準額に沿って見直しを行いました。（令和4年4月1日施行開始） [主な見直し] 年額報酬 ・副団長 62,200円 → 69,000円（+6,800円） ・分団長 45,800円 → 50,500円（+4,700円） ・副分団長 31,400円 → 45,500円（+14,100円） ・部長 26,900円 → 37,000円（+10,100円） ・班長 25,000円 → 37,000円（+12,000円） ・団員 22,100円 → 36,500円（+14,400円）	報酬改定に係る条例改正及び施行達成率 単位 %	-	-	-	-	100
消防団施設整備事業	7,591	地域の防災活動拠点である消防団機械器具置場及びホース乾燥台について、老朽化による建替え等により、拠点施設の充実強化を図ります。 令和4年度については海上工作分団機械器具置場の複合建替えに伴う調査・設計業務を行いました。 ・海上工作分団機械器具置場（新規） 令和4年度：調査、設計 令和5年度：改築工事、旧施設解体	整備計画に基づく事業達成率 単位 %	-	-	-	-	100
通信施設・設備等整備事業	13,829	通信機器の定期点検や訓練を行い、不具合等があった場合は速やかに復旧作業を行うなど、災害発生に備えた体制を整備しました。	無線設備等の防災関連通信機器の不具合解消率 単位 %	100	100	100	100	100
自主防災活動促進事業（連携）	1,437	災害に備えた自主防災組織の結成・育成を促進することにより、新たに1町会が自主防災組織を結成し、計197町（内）会となりました。	自主防災組織結成町（内）会数 単位 町（内）会	189	189	195	196	197
防災訓練事業	333	災害の予防、応急対策等の防災活動が迅速かつ確に行えるよう、防災体制の強化と地域住民の防災意識の高揚を図ることを目的に、地域住民・防災関係機関等と連携し、実効性のある避難行動訓練を実施しました。（気象警報の発表や新型コロナウイルスの感染状況により訓練中止になった場合には、参加予定であった団体数をカウントすることとしました。）	青森市総合防災訓練への参加団体数 単位 団体	36	38	35	31	29

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

「自主防災組織や町（内）会等が実施する防災講話・防災訓練への職員派遣」や「青森市自主防災組織育成強化特別推進事業費補助金」により、市域全体の総合的な防災力の底上げに取り組んだ結果、令和4年度における「自主防災組織結成町（内）会数」は1町（内）会増えて197町（内）会となったものの、令和4年度の目標値である211町（内）会には満たなかった状況です。

一方で、自主防災組織が行う防災訓練や研修については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも令和4年度は173回となり、令和4年度の目標値である97回を上回っていることから、施策の方向性である地域防災体制の強化に寄与しています。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）
施策評価の結果からもわかるように、青森市の災害対策が十分であると思っている市民が2割弱にとどまっていることから、市民の防災意識を高めるためにも自主防災組織未結成町（内）会が自主的に防災活動に取り組むことができるよう、地域防災をサポートする人材の育成支援を行うことにより、新たな自主防災組織の結成に引き続き取り組む必要があります。

（目指すべき方向性）
市域全体の総合的な防災力の維持・向上に向け、自主防災組織による地域防災活動を推進し、地域防災体制の強化を図ります。

1 施策の基本情報

基本政策	第5章	つよい街	主たる担当部局	
政策	第1節	防災体制・雪対策の充実	都市整備部	
施策	第3項	克雪体制の整備	関連部局	
			-	

2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

地域・除排雪事業者・行政が連携し、効果的・効率的な除排雪を推進するとともに、市民が共に支え合い助け合う持続可能な雪対策を推進します。

3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況【◎印は青森市総合戦略2020-2024の指標も兼ねる】

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
雪捨て場設置箇所数	道路除排雪作業を行う際に除排雪事業者が利用する雪捨て場の設置箇所数	+	H29 33 箇所	目標値		33	34	34	34	35
				実績値	33	33	33	33	35	
分析	除排雪事業者が利用する雪捨て場設置箇所数は35箇所となり、目標値を上回りました。		達成度評価	A						

指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
除雪ボランティア登録者数◎	青森市ボランティアポイント制度における地域福祉サポーターの登録者のうち「雪対策支援」分野の活動を希望する者の数	+	H29 508 人	目標値		518	523	528	533	538
				実績値	701	810	777	839	809	
分析	除雪ボランティア登録者数は809人となり、目標値を上回りました。		達成度評価	A						

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析			達成度評価							

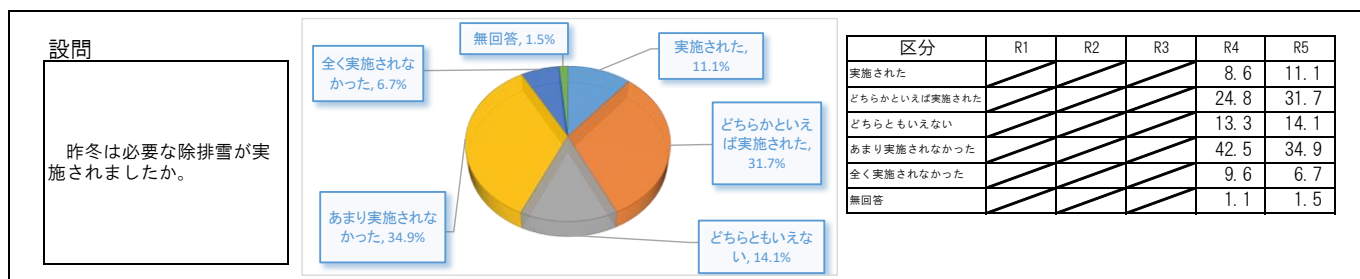
指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析			達成度評価							

4 市民意識調査

設問

あなたは、青森市は雪への備えが十分な街だと思いますか。

区分	R1	R2	R3	R4	R5
大いにそう思う	4.2	7.9	3.7		
どちらかといえばそう思う	26.6	32.7	21.7		
どちらともいえない	21.9	22.5	20.0		
あまりそう思わない	32.2	26.3	37.5		
全くそう思わない	14.3	9.6	16.3		
無回答	0.9	0.0	0.7		



5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
除排雪対策事業	5,128,608	除排雪事業実施計画に基づき、除排雪延長1,681.17kmについて、効果的・効率的な除排雪作業を実施したことにより、冬期間における都市機能の維持及び道路交通の確保と市民生活の安定を図ることができたものと考えます。	除排雪延長 単位 km	1,677.74	1,677.00	1,678.48	1,679.94	1,681.17
豪雪地帯安全確保緊急対策事業	47,691	除雪ボランティア活動時の安全対策に関する実地講習会を開催し、雪下ろし等除雪作業の担い手の育成とともに、地域住民への安全な除排雪作業の浸透を図りました。	安全対策講習会の開催回数 単位 回	-	-	-	-	2
除雪オペレーター担い手育成支援事業	59	冬期間の安全で安心な交通を確保するため、市の除排雪業務を請け負う事業者に対し、除排雪作業の担い手となる除雪オペレーター育成に係る車両系技能講習の受講料等の費用の一部を補助しました。	支援事業を活用した研修等受講者数 単位 人	-	-	-	36	10
除排雪力向上連携ネットワーク形成事業（連携）	169	令和4年度は、運転技術の向上や安全意識の向上を目的とした、除排雪オペレーター講習会を開催しました。	講習会の開催回数 単位 回	-	-	-	-	2
流雪溝整備事業	275,898	冬期間の快適な生活空間を創出するため、河川水を利用した融流雪溝を整備しました。 佃地区：融流雪溝L=1,248m 篠田地区：融流雪溝L=686m 北中野地区：融流雪溝L=182m	整備延長 単位 m	610	773	160	499	2,116
			単位					
			単位					

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

雪捨て場の設置箇所数指標、除雪ボランティア登録者数指標ともに目標値を上回っており、効果的・効率的な除排雪及び市民が共に支え合い助け合う持続可能な雪対策が着実に進んでおり、施策の方向性に寄与しています。

市民意識調査では、昨冬は必要な除排雪が実施されたと思う割合が、「実施された」「どちらかといえば実施された」が42.8%ある一方、「あまり実施されなかった」「全く実施されなかった」が41.6%あることから、引き続き、効果的・効率的な除排雪の推進のため継続した取組が必要です。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）
市民意識調査の状況から市民の雪対策への関心が高いことや、今後の人口減少の進展を踏まえ、これまでの取組に加え、除排雪体制の効率化・省力化に向けた調査・研究を行い、効果的・効率的な除排雪の推進を図る必要があります。

（目指すべき方向性）
地域・除排雪事業者・行政が連携し、効果的・効率的な除排雪を推進するとともに、市民が共に支え合い助け合う持続可能な雪対策を推進します。

【行政分野】

その他

【前期基本計画における施策数】 10

- 2-2-4 社会教育の推進
- 2-4-1 文化芸術活動の推進
- 2-4-2 文化芸術資源の継承
- 3-2-1 交通安全対策の推進
- 3-2-2 地域防犯対策の推進
- 3-2-3 安全・安心な消費生活の確保
- 3-3-2 互いを尊重し支え合う社会の形成
- 3-3-3 平和意識の醸成
- 4-4-1 地域福祉の充実
- 4-4-2 生活困窮者の自立支援

1 施策の基本情報

基本政策	第2章	ひと創り	主たる担当部局 教育委員会事務局
政策	第2節	教育の充実	
施策	第4項	社会教育の推進	

2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

誰もが生涯にわたり、興味や必要に応じて、知識や技術を学び、地域や社会で活かすための環境の充実に図ります。
国際社会の一員である自覚を持ったグローバルな人材を育成するとともに、学校・家庭・地域や関係団体等が連携し、青少年の健全育成を支援します。

3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5																					
市民1人が1年間に図書館や市民センター等の施設を利用した回数	各年度における市民図書館、青森地区市民センター、浪岡地区公民館、編野山の家の利用者の会計を本市の人口で除した数	+	H29 4.9 回	目標値		4.9	4.9	4.9	4.9	4.9																					
				実績値	5.0	4.8	3.0	3.1	3.7																						
分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、市民1人が1年間に図書館や市民センター等の施設を利用した回数は3.7回となり、目標値を下回りました。			達成度評価	B	<p>市民一人当たり図書館・市民センター等利用回数(年)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> <tr><td>H30</td><td>5.0</td><td>4.9</td></tr> <tr><td>R1</td><td>4.8</td><td>4.9</td></tr> <tr><td>R2</td><td>3.0</td><td>4.9</td></tr> <tr><td>R3</td><td>3.1</td><td>4.9</td></tr> <tr><td>R4</td><td>3.7</td><td>4.9</td></tr> <tr><td>R5</td><td></td><td>4.9</td></tr> </table>					年度	実績値	目標値	H30	5.0	4.9	R1	4.8	4.9	R2	3.0	4.9	R3	3.1	4.9	R4	3.7	4.9	R5		4.9
年度	実績値	目標値																													
H30	5.0	4.9																													
R1	4.8	4.9																													
R2	3.0	4.9																													
R3	3.1	4.9																													
R4	3.7	4.9																													
R5		4.9																													

指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

4 市民意識調査

設問

あなたは、生涯にわたり、知識や技術を習得し、それらを地域や社会で活かしていきたいと思いませんか。

区分	R1	R2	R3	R4	R5
大いにそう思う	19.9	23.3	21.6		
どちらかといえばそう思う	41.1	38.2	40.9		
どちらともいえない	26.9	24.5	24.1		
あまりそう思わない	9.5	10.0	8.9		
全くそう思わない	2.0	2.3	2.8		
無回答	0.6	1.7	1.7		

設問

区分	R1	R2	R3	R4	R5

5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
図書館運営管理事業 (連携)	122,518	令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市民図書館が長期間臨時休館したことから、年間入館者数が減少しましたが、緊急事態やまん延防止等重点措置が終了し、利用者への感染予防の呼びかけや、消毒用アルコールの設置等の感染防止対策を講じ、年間入館者数が増加しました。市民の学習機会の確保に努め、社会教育の推進に繋がりました。	年間入館者数 単位 人	511,372	490,124	357,932	339,818	407,204
生涯学習支援事業	7,190	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、センターまつりの中止や各市民センター等の利用が制限される中、市民センターで開催する教育活動には25,112人が参加しました。なお、そのうち市民が地域の課題解決等を主体的に担っていく力を身につけるための「現代的・社会的課題などをテーマとした講座等」には6,779人が参加しました。	市民センターで開催する教育活動への参加者数 単位 人	76,766	71,776	15,858	17,842	25,112
			単位					
			単位					
			単位					

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

市民1人が1年間に図書館や市民センター等の施設を利用した回数は3.7回で、前年度実績値は上回ったものの目標値に達しませんでした。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、利用制限などの対策を取ったことや、施設利用の自粛等の影響によるものと考えます。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）
新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの5類移行に伴い、図書館や市民センター等の施設において、減少した入館者数や事業参加者数の回復に向けた取組とともに各事業を進めていく必要があります。

（目指すべき方向性）
引き続き、生涯を通じた学習活動と学習成果を活かす環境の充実、多様な主体との連携、青少年の健全育成支援に取り組んでいきます。

1 施策の基本情報

基本政策	第2章	ひと創り	主たる担当部局 教育委員会事務局
政策	第4節	文化芸術の推進	
施策	第1項	文化芸術活動の推進	

2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

市民が文化芸術に身近に触れ合うことができる環境づくりを進めます。

3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
市民1人が1年間に文化施設を利用した回数	各年度における文化施設利用者の合計を本市の人口で除した数	+	H29 1.9 回	目標値		1.9	2.0	2.0	2.0	2.0
				実績値	1.9	1.7	0.4	0.6	1.1	
分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、市民1人が1年間に文化施設を利用した回数は1.1回となり、目標値を下回りました。			達成度評価	C	<p>創業件数</p> <p>■ 実績値 ● 目標値</p>				

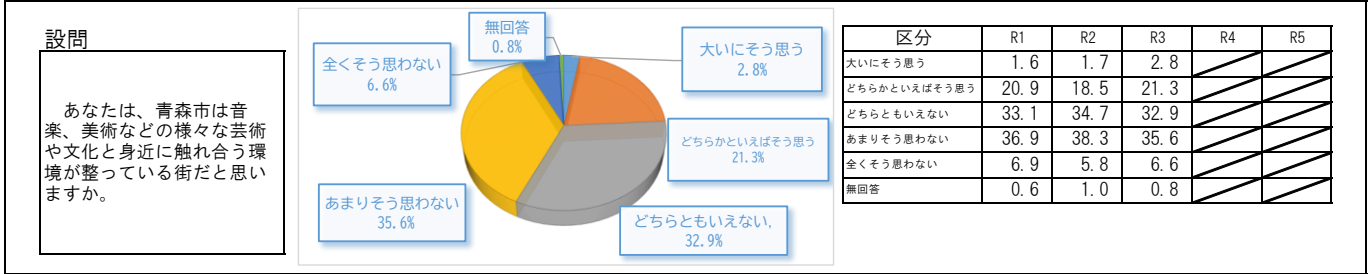
指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

4 市民意識調査



設問

区分	R1	R2	R3	R4	R5

5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
青森市民文化祭開催事業	830	市民文化祭を3年ぶりに開催し、参加者及び来場者数はコロナ禍以前には及ばなかったものの11,637人となり、多くの市民に文化芸術活動の発表の場・鑑賞の機会を提供し、市民の文化芸術活動の推進に大きく寄与しました。	参加・来場者数 単位 件	22,222	22,909	-	-	11,637
小学校演劇鑑賞支援事業（連携）	0	新型コロナウイルス感染症の影響から、「心の劇場」は上演中止となりましたが、12月12日～12月16日、1月30日～2月3日の期間で動画を配信し、視聴しました。	市内全小学校のうち、劇団四季の「こころの劇場」を鑑賞する小学校の割合 単位 %	100	100	-	100	100
文化振興施設運営管理事業	4,840	多様な文化芸術のニーズを踏まえ、クラシック、演劇、伝統芸能等の市民参加型の30事業の文化事業を実施したことにより、令和4年度は43,168人と、令和元年度からの最多の来場者数となりました。	文化振興事業入場者数 単位 人	41,244	27,637	9,161	11,149	43,168

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

市民1人が1年間に文化施設を利用した回数は1.1回で、前年度実績値を上回ったものの目標値には達しませんでした。これは、前年度より引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、いくつかの催事が中止となったことが影響していると考えます。

市民意識調査では、青森市は芸術や文化と身近に触れ合う環境が整っていると思うかの問いに、「大いにそう思う」（2.8%）、「どちらかといえばそう思う」（21.3%）と回答した割合は合わせて24.1%となっており、令和2年度より若干（4.1ポイント）増えており、引き続き継続した取り組みが必要です。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）
 施策評価の結果などを踏まえるとともに、5類となった新型コロナウイルス感染症に配慮しながら、今後も市民が文化芸術に身近に触れ合う環境づくり等に引き続き取り組む必要があります。

（目指すべき方向性）
 目標とする指標や市民意識調査の結果を踏まえるとともに、5類となった新型コロナウイルス感染症に配慮しながら様々な事業を実施し、市民が文化芸術と今まで以上に身近に触れ合うことができる環境づくりを図ります。

1 施策の基本情報

基本政策	第2章	ひと創り	主たる担当部局 教育委員会事務局
政策	第4節	文化芸術の推進	
施策	第2項	文化芸術資源の継承	関連部局 経済部

2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

文化芸術に対する子どもたちの関心を喚起するとともに、後継者の育成を図り、次世代へ継承します。

3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5	
文化芸術資源を活用した事業に子どもが参加した割合	各年度における文化芸術資源を活用した事業への市内小・中学生の参加者数の合計を本市の児童生徒数で除した数	+	H29	21.1	%	目標値	21.7	22.3	22.9	23.5	24.1
						実績値	22.0	17.1	14.1	13.1	12.4

分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、文化芸術資源を活用した事業に子どもが参加した割合は12.4%となり、目標値を下回りました。	達成度評価	C	子どもの文化芸術資源活用事業参加割合

指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
					目標値					
					実績値					

分析		達成度評価		

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
					目標値					
					実績値					

分析		達成度評価		

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
					目標値					
					実績値					

分析		達成度評価		

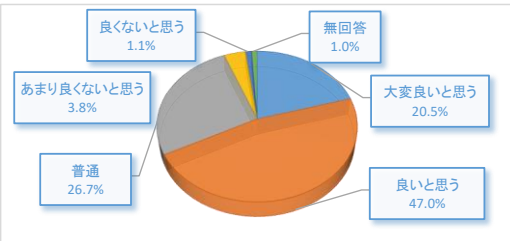
指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
					目標値					
					実績値					

分析		達成度評価		

4 市民意識調査

設問

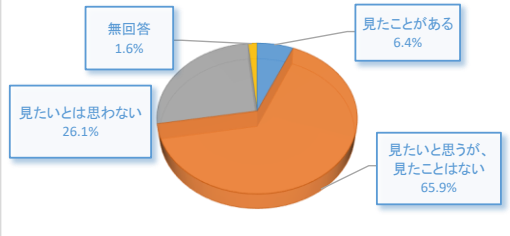
あなたは、青森市が、文化芸術に対する子どもたちの関心を喚起するとともに、後継者の育成を図っていることについて、どう思いますか。



区分	R1	R2	R3	R4	R5
大変良いと思う	20.5				
良いと思う	47.0				
普通	26.7				
あまり良くないと思う	3.8				
良くないと思う	1.1				
無回答	1.0				

設問

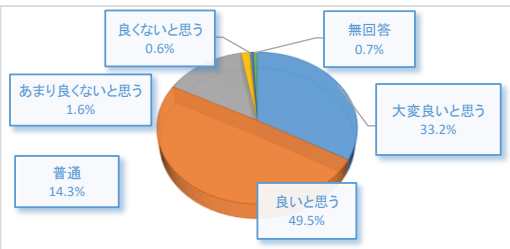
あなたは、青森市が、3年に1度行っているAOMORIトリエンナーレを見たことがありますか。



区分	R1	R2	R3	R4	R5
見たことがある		6.4			
見たいと思うが、見たことはない		65.9			
見たいとは思わない		26.1			
無回答		1.6			

設問

あなたは、青森市が、交通便利性の高い場所等で文化芸術に触れる機会を増やすことについて、どう思いますか。



区分	R1	R2	R3	R4	R5
大変良いと思う			33.2		
良いと思う			49.5		
普通			14.3		
あまり良くないと思う			1.6		
良くないと思う			0.6		
無回答			0.7		

5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
文化芸術資源活用交流事業	450	子どもの創造性を高めるため、京都芸術大学教員を小・中学校（大野小学校・油川中学校）に派遣してワークショップを実施し、人材育成が図られました。	ワークショップ・講座・研修等への参加人数 単位：人	85	170	-	-	171
歴史的文化的資源保存・活用事業	1,239	津軽三味線日本一決定戦や民俗・芸能保存団体等への支援を通じて、三味線奏者や獅子踊、登山囃子等の発表の機会を提供するとともに、市民に伝統芸能を広く鑑賞していただくことにより、伝統芸能の保存に対する理解を深めました。新型コロナウイルス感染症の影響により、実績0件の年が続きましたが、令和4年度は7件の支援を行いました。	民俗・伝統芸能団体への支援数 単位：団体	20	17	-	-	7
地域の歴史を将来に伝え・残す事業	1,695	毎月1回（昼夜2回）開催の歴史講座は、新型コロナウイルス感染症対策のため、定員を40人から20人に減じたことからR2年度以降は参加者数が減っています。定員に対する充足率は年度半ばまでは低い状況にあったものの、徐々に回復の傾向が見られました。また初めての試みとして「歴史トリビア・縄文遺跡ツアー」も実施しました。	歴史資料室が開催した講座への参加者数 単位：人	731	692	270	266	360

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

文化芸術資源を活用した事業に子どもが参加した割合は12.4%で、目標値には達しませんでした。これは、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、主要な事業が中止となったことなどが影響しているものと考えます。

市民意識調査では、青森市が、文化芸術に対する子どもたちの関心を喚起するとともに、後継者の育成を図っていることについてどう思うかの問いに、「大変良いと思う」（20.5%）、「良いと思う」（47.0%）と回答した割合は合わせて67.5%、青森市が3年に1度行っているAOMORIトリエンナーレを見たことがあるかとの問いに、「見たことがある」（6.4%）、「見たいと思うが、見たことはない」（65.9%）と回答した割合は合わせて72.3%、青森市が交通便利性の高い場所等で文化芸術に触れる機会を増やすことについてどう思うかの問いに、「大変良いと思う」（33.2%）、「よいと思う」（49.5%）と回答した数は合わせて82.7%となっており、市民の文化芸術に対する関心は高いものと考えことから、引き続き継続した取組が必要です。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）
今後も引き続き、文化芸術について子どもたちの関心を喚起し、後継者の育成を図り、次世代へ継承する取組を行う必要があります。

（目指すべき方向性）
目標とする指標や市民意識調査の結果を踏まえ、子どもの創造性を高める取組や伝統芸能に対する理解、地域の歴史を伝えていく取組を進めます。

1 施策の基本情報

基本政策	第3章	まち創り	主たる担当部局		
政策	第2節	安全・安心な市民生活の確保	市民部		
施策	第1項	交通安全対策の推進	関連部局		
			都市整備部・浪岡振興部		

2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

幼児から高齢者までの各世代に応じた交通安全意識の啓発と市民の参加・協働による交通安全活動を推進するとともに、交通安全施設等の充実を図ります。

3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5																					
交通安全運動参加者数	交通安全運動に参加した市民の人数及び啓発した市民の人数	+	H29 15,526 人	目標値		16,000	16,000	16,000	16,000	16,000																					
				実績値	15,931	15,200	9,433	10,124	11,845																						
分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、交通安全運動参加者数は11,845人となり、目標値を下回りました。			達成度評価	C		<p>交通安全運動参加者数</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> <tr><td>H30</td><td>15,931</td><td>16,000</td></tr> <tr><td>R1</td><td>15,200</td><td>16,000</td></tr> <tr><td>R2</td><td>9,433</td><td>16,000</td></tr> <tr><td>R3</td><td>10,124</td><td>16,000</td></tr> <tr><td>R4</td><td>11,845</td><td>16,000</td></tr> <tr><td>R5</td><td></td><td>16,000</td></tr> </table>				年度	実績値	目標値	H30	15,931	16,000	R1	15,200	16,000	R2	9,433	16,000	R3	10,124	16,000	R4	11,845	16,000	R5		16,000
年度	実績値	目標値																													
H30	15,931	16,000																													
R1	15,200	16,000																													
R2	9,433	16,000																													
R3	10,124	16,000																													
R4	11,845	16,000																													
R5		16,000																													

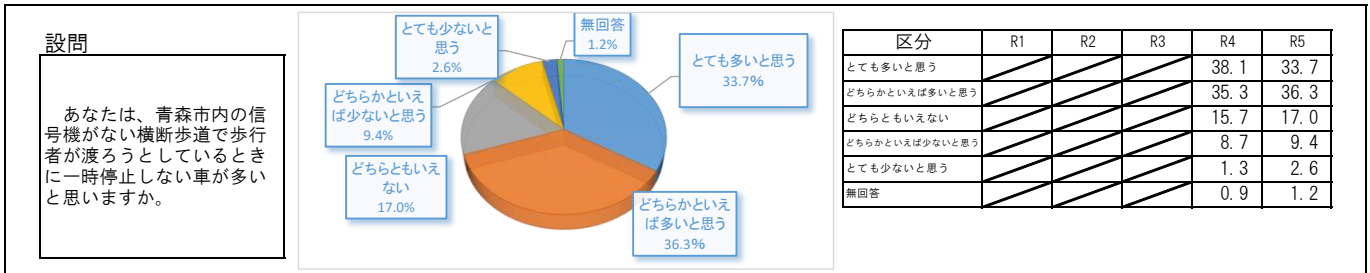
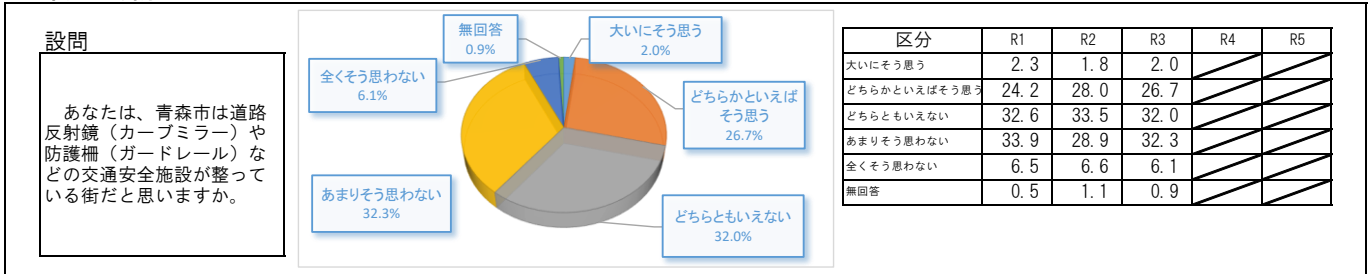
指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5																					
交通事故による死傷者数	交通事故による年間の死傷者数	-	H30 914 人	目標値		810	810	810	810	810																					
				実績値	914	849	723	787	710																						
分析	交通事故による死傷者数は710人となり、目標値に達しました。			達成度評価	A		<p>交通事故による死傷者数</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> <tr><td>H30</td><td>914</td><td>810</td></tr> <tr><td>R1</td><td>849</td><td>810</td></tr> <tr><td>R2</td><td>723</td><td>810</td></tr> <tr><td>R3</td><td>787</td><td>810</td></tr> <tr><td>R4</td><td>710</td><td>810</td></tr> <tr><td>R5</td><td></td><td>810</td></tr> </table>				年度	実績値	目標値	H30	914	810	R1	849	810	R2	723	810	R3	787	810	R4	710	810	R5		810
年度	実績値	目標値																													
H30	914	810																													
R1	849	810																													
R2	723	810																													
R3	787	810																													
R4	710	810																													
R5		810																													

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

4 市民意識調査



5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
交通安全施設整備事業	39,301	交通安全対策のため、歩道・区画線・道路反射鏡・防護柵などの設置、歩道段差解消など道路環境の整備を実施し、区画線設置延長は51kmとなりました。	区画線設置延長 単位 km	75	62	85	66	51
交通安全啓発・教育推進事業	390	関係機関・団体等と連携してさまざまな交通安全啓発活動を継続的に実施し、市民に対して交通安全思想の普及・啓発活動を図り、交通事故による死傷者数も目標値を達成しました。	年間の交通事故死傷者数 単位 人	914	849	723	787	710
交通安全推進補助事業	1,684	交通安全運動に取り組む団体への助成を行うことにより、交通安全啓発活動など交通安全運動の推進が図られ、交通事故による死傷者数は787件となり、目標値を達成しました。	年間の交通事故死傷者数 単位 人	914	849	723	787	710

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

交通安全の啓発・教育推進については、新型コロナウイルス感染症の影響により交通安全運動参加者数は目標値を下回っているものの、交通事故による年間の死傷者数は減少していることから、交通安全思想の普及啓発が図られており、施策の方向性に寄与しています。

また、交通安全施設の整備については、令和4年度の区画線設置延長は51kmであり、交通事故を防止し、安全、円滑な道路交通を確保するため、今後も市民からの要望等を踏まえた適切な対応が必要となっています。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）
今後も交通事故のない安全で住みよい地域社会づくりを進めるため、より効果的な交通安全啓発活動を検討しながら、関係機関・団体との連携を強化し、交通安全啓発活動を実施していく必要があります。

（目指すべき方向性）
幼児から高齢者までの各世代に応じた交通安全意識の啓発と市民の参加・協働による交通安全活動を推進するとともに、交通安全施設等の充実を図ります。

1 施策の基本情報

基本政策	第3章	まち創り	主たる担当部局	
政策	第2節	安全・安心な市民生活の確保	市民部	
施策	第2項	地域防犯対策の推進	関連部局	
			福祉部・都市整備部	

2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

地域防犯活動団体の担い手を確保するとともに、防犯に関する広報活動や警戒活動等を展開し、地域の防犯意識の高揚を図ります。

3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
犯罪発生件数	刑法犯の認知件数	-	H30 1,063 件	目標値		1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
				実績値	1,063	909	937	781	869	
分析	犯罪発生件数は869件となり、目標値に達しました。			達成度評価	A					

犯罪発生件数

2,000
0

H30 R1 R2 R3 R4 R5

■ 実績値 ● 目標値

指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

4 市民意識調査

設問

あなたは、住民相互の声掛けや見守りなどの地域防犯活動に、協力していきたく思いますか。

全くそう思わない	3.2%
あまりそう思わない	
どちらともいえない	25.1%
どちらかといえばそう思う	44.3%
大いにそう思う	16.1%
無回答	0.9%

区分	R1	R2	R3	R4	R5
大いにそう思う	15.5	18.1	16.1		
どちらかといえばそう思う	45.7	43.6	44.3		
どちらともいえない	27.8	26.8	25.1		
あまりそう思わない	7.7	8.0	10.4		
全くそう思わない	2.6	2.8	3.2		
無回答	0.6	0.7	0.9		

設問

区分	R1	R2	R3	R4	R5

5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
防犯推進事業	2,217	地域防犯推進団体に助成を行うことにより、広報活動や警戒活動など、防犯活動の推進が図られ、目標値は達成していますが、刑法犯認知件数は869件（前年比88件増）と増加しました。	刑法犯認知件数 単位 件	1,063	909	937	781	869
防犯灯維持管理事業	140,354	明るく住みよい地域社会づくりを進め、夜間の歩行者の安全を図るため、LED式防犯灯の修繕を40件行いました。	防犯灯修繕件数 単位 件	51	43	54	40	49

6. 施策の総合評価（主たる担当部局）

広報活動や警戒活動を行う地域防犯推進団体への支援や、夜間の歩行者の安全と犯罪防止のための防犯灯の設置に取り組んだ結果、令和4年の刑法犯認知件数は869件となり、令和5年度の目標値である1,000件以下に向けて推移していることから、安全安心な市民生活の確保に寄与しています。

7. 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）
本市の刑法犯認知件数は、年々減少傾向にありましたが、令和4年は869件（前年比88件増）と前年に比べ増加に転じていることから、今後も地域の安全・安心を守っていくために関係機関・団体との連携を強化し防犯活動の展開、地域の防犯意識の高揚が必須であり、警察、行政、市民が一体となった防犯活動を実施していく必要があります。

（目指すべき方向性）
人口減少社会による地域防犯活動団体の担い手の減少に対応するため、防犯カメラの設置拡充を図るとともに防犯に関する広報活動や警戒活動等を展開し、地域の防犯意識の高揚を図ります。

1 施策の基本情報

基本政策	第3章	まち創り	主たる担当部局	
政策	第2節	安全・安心な市民生活の確保	市民部	
施策	第3項	安全・安心な消費生活の確保	関連部局	
			-	

2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

消費者教育・啓発活動を推進するとともに、消費者の安全・安心の確保を図ります。

3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
啓発事業などへの参加者数	消費生活に関する各種啓発事業に参加した市民の人数及び啓発した市民の人数	+	H29 3,403 人	目標値		3,600	3,700	3,800	3,900	4,000
				実績値	3,358	2,897	3,734	4,658	4,222	
分析	啓発事業などへの参加者数は4,222人となり、目標値を上回りました。			達成度評価	A					

指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

4 市民意識調査

設問

あなたは、青森市が、悪質商法等の消費生活に関するトラブルの解決に向けて、市民が気軽に相談できるよう、青森市民消費生活センターを駅前庁舎1階に開設していることを知っていますか。

区分	R1	R2	R3	R4	R5
知っている	17.4	18.1	15.8		
多少知っている	12.7	11.9	12.6		
知らない	69.7	69.5	70.9		
無回答	0.2	0.6	0.6		

設問

区分	R1	R2	R3	R4	R5

5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
あおり出会いサポートセンター共同運営事業	336	あおり出会いサポートセンター共同運営及びAIを活用したマッチングシステムについては、令和4年10月から運用開始し、成婚者数（累計）は目標値の150人に届かなかったものの、結婚を希望するかたに対し支援することができました。	あおり出会いサポートセンターにおける成婚者数（累計） 単位 人	-	108	124	136	141
消費生活相談事業（連携）	46,198	消費者被害の未然防止・拡大防止を図るため本事業を実施した結果、青森市民消費生活センターに寄せられた相談件数は1,480件となっており、目標値を上回る結果となりました。	青森市民消費生活センターに寄せられた相談件数 単位 件	1,589	1,547	1,521	1,409	1,480
消費者教育啓発活動推進事業	222	啓発事業などへの参加者数は、4,222人となっており、昨年度より減少したものの、引き続き消費生活出前講座や消費者月間パネル展等による啓発活動を行ったことにより、目標値を上回る結果となりました。	啓発事業などへの参加者数 単位 人	3,358	2,897	3,734	4,658	4,222
市民相談事業	452	R4年度の市民なんでも相談・特別相談・専門相談に寄せられた相談に対応した件数は、4,271件となっており、目標値を上回る結果となりました。	市民の相談コーナー（市民なんでも相談・専門相談）に寄せられた相談に対応した件数 単位 件	4,388	3,710	3,835	3,871	4,271

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

各種広報媒体を活用した注意喚起や消費生活出前講座の開催に加え、庁内関係課や外部団体を通じて、トラブルの事例や青森市民消費生活センターなどの相談先の周知啓発等に取り組んだ結果、施策の指標である「啓発事業などへの参加者数」は目標値を上回っており、いずれの事業も施策の方向性である安全・安心な消費生活の確保に寄与しています。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）
 高齢化・単身世帯化等の社会経済環境の変化や近年のデジタル化の進展に伴う悪質商法の手口の巧妙化のほか、成年年齢引下げ後の18歳、19歳の若者を狙った詐欺など、多様化・複雑化する消費者トラブル等による被害の未然防止・拡大防止のため、引き続き消費者教育・周知啓発活動及び相談業務を実施する必要があります。

（目指すべき方向性）
 消費者教育・啓発活動を推進するとともに、消費者の安全・安心の確保を図ります。

1 施策の基本情報

基本政策	第3章	まち創り	主たる担当部局	
政策	第3節	ユニバーサル社会の形成	-	
施策	第2項	互いを尊重し支え合う社会の形成	関連部局	
			市民部・福祉部	

2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

年齢や国籍、障がいの有無等に関係なく、誰もが社会の一員として互いを尊重し、認め、支え合い、共に生きる社会の形成を図ります。

3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値			H30	R1	R2	R3	R4	R5
地域における交流事業開催数	障がい者の支援を行っている地域活動支援センター施設開放（交流事業）の開催数	+	H30	364	回	目標値	373	382	391	400	409
						実績値	364	255	246	336	342
分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、地域における交流事業開催数は342回となり、目標値を下回りました。			達成度評価	B						

指標②	指標の説明	方向	基準値			H30	R1	R2	R3	R4	R5
						目標値					
						実績値					
分析				達成度評価							

指標③	指標の説明	方向	基準値			H30	R1	R2	R3	R4	R5
						目標値					
						実績値					
分析				達成度評価							

指標④	指標の説明	方向	基準値			H30	R1	R2	R3	R4	R5
						目標値					
						実績値					
分析				達成度評価							

指標⑤	指標の説明	方向	基準値			H30	R1	R2	R3	R4	R5
						目標値					
						実績値					
分析				達成度評価							

4 市民意識調査

設問

あなたは、青森市が、年齢、国籍、障がいの有無等に関係なく、互いに尊重し共に生きる社会の形成に取り組むとともに、平和の尊さを市民に伝えていることについて、どう思いますか。

区分	R1	R2	R3	R4	R5
大変良いと思う	31.6	36.0	35.6		
良いと思う	45.1	42.3	43.0		
普通	19.9	19.1	18.5		
あまり良くないと思う	1.4	1.3	1.6		
良くないと思う	0.6	0.3	0.4		
無回答	1.4	0.9	0.9		

設問

区分	R1	R2	R3	R4	R5

5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
障がい者に対する理解を深めるための啓発事業	2,160	障がいのある方等の生活や経験を知り、障がいについて正しく理解し、誰にでも暖かく接する思いやりのある心や共に支え合っていく生きていく意識を育み、障がいに対する理解を深めるため、小中学校を対象に『福祉読本』を作成し、学校の授業で活用していただくとともに、障がい者週間（12月3日～9日）に合わせて、パネル展示等を行うなど、広く市民へのノーマライゼーション理念の普及啓発を図っております。	福祉読本の作成冊数 単位：冊	9,840	9,450	9,504	9,370	9,251
DV相談支援センター運営事業	2,427	青森市DV相談支援センターのチラシやカードを市内の関係部署や関係機関などに配布・設置したことにより、同センターの周知度は、目標値の50.0%を上回り、69.6%となっています。	青森市DV相談支援センターの周知度 単位：%	64.1	66.0	71.4	67.6	69.6
地域活動支援センター事業	62,352	地域活動支援センター1箇所あたり延べ3,341人が利用しており、在宅の障がいのあるかたに対し生産活動の場や社会的交流の機会の提供、相談業務を総合的に行っております。	1箇所あたりの年間延利用者数 単位：人	3,742	4,373	3,693	3,584	3,341

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

青森市DV相談支援センターのチラシやカードを市内の関係部署や関係機関などに配布・設置したことにより、令和4年度の同センターの周知度は69.6%となり、目標値の50.0%を上回っていることから、施策の方向性である互いを尊重し支え合う社会の形成に寄与しています。

また、地域活動支援センターに対し継続して、地域における交流活動の推進に向けたさらきかけを行ってきた結果、令和4年度における「交流事業開催数」は342回となり、令和4年度の目標値には達していないものの、令和5年度の目標値である409回に向けて推移していることから、施策の方向性である、年齢や国籍、障がいの有無等に関係なく、誰もが社会の一員として互いを尊重し、認め、支え合い、共に生きる社会の形成に寄与しています。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）
 青森市DV相談支援センターの周知度が上がり、相談件数が増加していることから、引き続き、DV被害相談者の支援に取り組む必要があります。

また、在宅の障がいのあるかたに対し生産活動の場や社会的交流の機会の提供、相談業務を総合的に行う地域活動支援センターへのはたらきかけを通じて、障がいのあるかたと地域住民との交流の機会の提供に引き続き取り組む必要があります。

（目指すべき方向性）
 年齢や国籍、障がいの有無等に関係なく、誰もが社会の一員として互いを尊重し、認め、支え合い、共に生きる社会の形成を図ります。

1 施策の基本情報

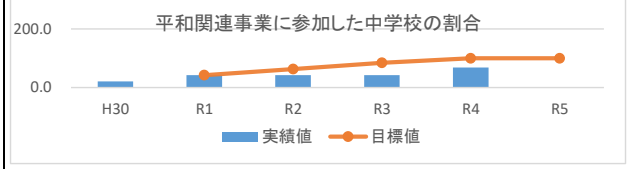
基本政策	第3章	まち創り	主たる担当部局		
政策	第3節	ユニバーサル社会の形成	総務部		
施策	第3項	平和意識の醸成	関連部局		
			-		

2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

平和の尊さを、市民、特に若い世代に伝えていきます。

3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
平和関連事業に参加した中学校の割合	平和・防災学習に参加したことのある市立中学校の割合	+	H30 21.1 %	目標値		42.1	63.2	84.2	100.0	100.0
				実績値	21.1	42.1	42.1	42.1	68.4	
分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、平和関連事業に参加した中学生の割合は68.4%となり、目標値を下回りました。			達成度評価	C					



指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

4 市民意識調査

設問

あなたは、青森市が、年齢、国籍、障がいの有無等に関係なく、互いに尊重し共に生きる社会の形成に取り組むとともに、平和の尊さを市民に伝えていることについて、どう思いますか。

区分	R1	R2	R3	R4	R5
大変良いと思う	31.6	36.0	35.6		
良いと思う	45.1	42.3	43.0		
普通	19.9	19.1	18.5		
あまり良くないと思う	1.4	1.3	1.6		
良くないと思う	0.6	0.3	0.4		
無回答	1.4	0.9	0.9		

区分	R1	R2	R3	R4	R5
大変良いと思う	31.6	36.0	35.6		
良いと思う	45.1	42.3	43.0		
普通	19.9	19.1	18.5		
あまり良くないと思う	1.4	1.3	1.6		
良くないと思う	0.6	0.3	0.4		
無回答	1.4	0.9	0.9		

設問

区分	R1	R2	R3	R4	R5

5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
平和都市関連事業	773	平和の尊さとともに、地震等の災害に対する防災対策の大切さも併せて学ぶ「平和・防災学習事業」において、岩手県釜石市へ中学生10名を派遣するとともに、派遣先の中学生派遣10名を受け入れ、相互交流を行いました。 また、「青森市平和の日」である7月28日に、アウガ（A V多機能ホール）において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、規模を縮小し、平和祈念式典を開催したところ、82名の方が参加しました。	平和関連事業に参加した中学校の割合 単位：%	21.1	42.1	42.1	42.1	68.4
			単位：					
			単位：					
			単位：					

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

市民意識調査では、平和の尊さを市民に伝えていることについて「大変良いと思う」「良いと思う」と回答した割合が令和3年度で78.6%と高い数値となっており、平和都市関連事業は平和意識の醸成に寄与しているものと考えます。

新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度及び令和3年度は平和・防災学習事業を中止したことから、平和関連事業に参加した中学校の割合は68.4%となり、目標値を下回ったものの、事業を再開した令和4年度以降は順調に推移しています。

また、平和・防災学習事業に参加した生徒からは、戦争も自然災害も「風化させないよう語り継ぐことが大切」等、事業が有意義だったとの声が多数あり、施策推進の一助となっています。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）
 施策の総合評価の結果や昨今の世界情勢を踏まえ、平和の尊さを、市民、特に若い世代に伝えることにより、平和意識の醸成に引き続き取り組む必要があります。

（目指すべき方向性）
 引き続き事業を実施し、平和の尊さを、市民、特に若い世代に伝えていきます。

1 施策の基本情報

基本政策	第4章	やさしい街	主たる担当部局	
政策	第4節	暮らしを支える福祉の充実	福祉部	
施策	第1項	地域福祉の充実	関連部局	
			-	

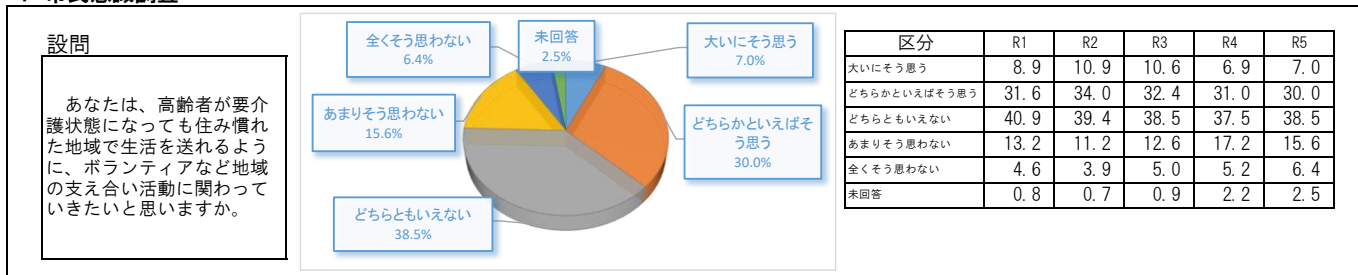
2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

地域福祉の担い手の育成・確保を進めるとともに、多様な主体と連携しながら、地域で共に支え合い、助け合う体制の充実を図ります。

3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況【◎印は青森市総合戦略2020-2024の指標も兼ねる】

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5																					
地域福祉サポーター登録数 ◎	青森市ボランティアポイント制度における地域福祉サポーターの登録者数	+	H29 2,124 人	目標値		2,164	2,184	2,204	2,224	2,244																					
				実績値	2,421	2,271	2,065	2,052	2,002																						
分析	地域福祉サポーター登録数は2,002人となり、目標値を下回りました。		達成度評価	B	<p>地域福祉サポーター登録数</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> <tr><td>H30</td><td>2,421</td><td>2,164</td></tr> <tr><td>R1</td><td>2,271</td><td>2,184</td></tr> <tr><td>R2</td><td>2,065</td><td>2,204</td></tr> <tr><td>R3</td><td>2,052</td><td>2,204</td></tr> <tr><td>R4</td><td>2,002</td><td>2,224</td></tr> <tr><td>R5</td><td></td><td>2,244</td></tr> </table>						年度	実績値	目標値	H30	2,421	2,164	R1	2,271	2,184	R2	2,065	2,204	R3	2,052	2,204	R4	2,002	2,224	R5		2,244
年度	実績値	目標値																													
H30	2,421	2,164																													
R1	2,271	2,184																													
R2	2,065	2,204																													
R3	2,052	2,204																													
R4	2,002	2,224																													
R5		2,244																													
指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5																					
民生委員・児童委員充足率	民生委員・児童委員の定数に対する委嘱者数（充足率）	+	H29 93.0 %	目標値		94.2	94.7	95.1	95.7	96.3																					
				実績値	93.8	95.1	94.4	94.7	90.1																						
分析	民生委員・児童委員充足率は90.1%となり、目標値を下回りました。		達成度評価	B	<p>民生委員・児童委員充足率</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> <tr><td>H30</td><td>93.8</td><td>94.2</td></tr> <tr><td>R1</td><td>95.1</td><td>94.7</td></tr> <tr><td>R2</td><td>94.4</td><td>94.7</td></tr> <tr><td>R3</td><td>94.7</td><td>95.1</td></tr> <tr><td>R4</td><td>90.1</td><td>95.7</td></tr> <tr><td>R5</td><td></td><td>96.3</td></tr> </table>						年度	実績値	目標値	H30	93.8	94.2	R1	95.1	94.7	R2	94.4	94.7	R3	94.7	95.1	R4	90.1	95.7	R5		96.3
年度	実績値	目標値																													
H30	93.8	94.2																													
R1	95.1	94.7																													
R2	94.4	94.7																													
R3	94.7	95.1																													
R4	90.1	95.7																													
R5		96.3																													
指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5																					
				目標値																											
				実績値																											
分析			達成度評価																												
指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5																					
				目標値																											
				実績値																											
分析			達成度評価																												
指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5																					
				目標値																											
				実績値																											
分析			達成度評価																												

4 市民意識調査



設問

区分	R1	R2	R3	R4	R5

5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
福祉館改築事業	143,967	青森市ファシリティマネジメント推進基本方針に基づき、施設機能の集約化や周辺既存施設との複合化などによる公共施設の老朽化対策に取り組んだ結果、片岡福祉館の建て替えが完了したほか、滝内福祉館について改築に向けた新施設の設計及び旧施設の解体工事に着手しました。	建て替えに着手した福祉館の数 単位：館	-	-	2	1	1
地域福祉計画推進事業	9,055	令和4年度は、地域福祉サポーター登録者数が減少し、目標値を下回りましたが、新型コロナウイルス感染症が収束傾向にあり、1ポイント以上の活動を行った方が増加し、獲得ポイント数も増加していることから、ボランティア活動の啓発として一定の成果が出ているものと考えます。	地域福祉サポーター登録者数 単位：人	2,421	2,271	2,065	2,052	2,002
民生委員児童委員活動事業	56,329	広報おもりに民生委員・児童委員の活動内容や実際に活動している方の声等を掲載したほか、12月の一斉改選に向けて、募集チラシを作成し、民生委員候補者推薦準備会の協力を得ながら地域住民への周知・啓発を図った結果、令和4年度の充足率は目標値の94.1%となっており、一定の成果が出ているものと考えます。	民生委員・児童委員充足率 単位：%	93.8	95.1	94.4	94.7	90.1
ほのぼのコミュニティ21推進事業	732	令和4年度は、高齢者のみの世帯、障がい者のいる世帯、ひとり親世帯等を対象とした孤独感解消や安否確認を行う地域住民によるボランティア体制が22地区構築され、延べ290人の「ほのぼの交流協力員」が270世帯を訪問し、見守り活動を行いました。	実施体制構築地区数（活動主体：地区社会福祉協議会） 単位：地区	22	23	23	23	22

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

主要な事業に取り組んだ結果、指標①「地域福祉サポーター登録者数」、指標②「民生委員・児童委員充足率」ともに目標を概ね達成しており、地域の担い手の育成・確保や地域の身近な相談体制の充実、地域活動を支える拠点の環境づくりに寄与しています。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）
今後、更に人口減少・少子高齢化が進展することが見込まれる中、高齢者や障がい者、子ども、生活困窮者など地域において支援が必要な方々を支えるため、地域福祉の担い手の育成・確保に取り組むとともに、地域住民が活動しやすい環境づくりの推進のため、老朽化が進む福祉館の建て替えに引き続き取り組む必要があります。

（目指すべき方向性）
PDCAサイクルに基づくボランティアポイント制度の見直しや、民生委員・児童委員充足率向上に向けた継続的な周知・啓発活動等を通じ、地域福祉の担い手の確保・地域の身近な相談体制の充実努めるとともに、福祉館の建て替えによる地域活動を支える拠点の環境づくりを進め、地域で支え合い・助け合う体制の充実を図ります。

1 施策の基本情報

基本政策	第4章	やさしい街	主たる担当部局 福祉部 関連部局 -
政策	第4節	暮らしを支える福祉の充実	
施策	第2項	生活困窮者の自立支援	

2 施策の方向性（前期基本計画の抜粋）

生活困窮者の自立を促進します。

3 前期基本計画 目標値に対する実績値の状況

指標①	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
生活困窮者の就労・増収率	自立相談支援窓口を利用し、就労支援対象者となったかたのうち就労または増収したかたの割合	+	H29 72.7 %	目標値		100	100	100	100	100
				実績値	66.7	80.0	78.6	90.9	92.7	
分析	生活困窮者の就労・増収率は92.7%となり、目標値を下回りました。			達成度評価						

指標②	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
自立による生活保護廃止件数	年間の生活保護廃止件数のうち就労などによる自立件数	+	H29 191 件	目標値		192	193	194	195	196
				実績値	176	135	174	194	183	
分析	自立による生活保護廃止件数は183件となり、目標値を下回りました。			達成度評価						

指標③	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標④	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

指標⑤	指標の説明	方向	基準値		H30	R1	R2	R3	R4	R5
				目標値						
				実績値						
分析				達成度評価						

4 市民意識調査

設問

あなたは、青森市が、就労支援等を通じて、生活困窮者の自立を促進することについて、どう思いますか。

大変良いと思う	32.7%
良いと思う	47.4%
普通	16.4%
あまり良くないと思う	1.9%
良くないと思う	0.8%
無回答	0.8%

区分	R1	R2	R3	R4	R5
大変良いと思う	22.4	32.6	32.7		
良いと思う	45.8	46.6	47.4		
普通	26.2	18.3	16.4		
あまり良くないと思う	2.8	1.3	1.9		
良くないと思う	1.7	0.5	0.8		
無回答	1.1	0.7	0.8		

設問

区分	R1	R2	R3	R4	R5

5 主要な事業の成果（令和4年度）

主要事業名	決算額 (千円)	成果の説明	評価指標	実績値				
				H30	R1	R2	R3	R4
生活困窮者自立支援事業	29,362	青森市自立支援相談窓口において相談を受けた方のうち、就労を希望する方について、自立支援プランを作成し、関係機関と連携しながら、継続的に就労支援を行うことにより、令和4年度においては、就労支援対象者41名のうち、38名が就労又は増収しました。	生活困窮者の就労・増収率 単位 %	66.7	80.0	78.6	90.9	92.7
生活保護対策事業	12,264,540	生活保護法に基づき、その利用し得る資産、能力その他あらゆるものを活用してもなお生活に困窮するかたに対し、困窮の程度に応じ必要な保護を行うとともに、その自立を助長しました。保護受給世帯については、3月末時点においては、令和3年度が6,711世帯に対し、令和4年度は6,624世帯となっております。	3月末時点の保護世帯数 単位 世帯	6,746	6,775	6,755	6,711	6,624
生活保護適正実施管理事業	9,490	生活保護制度の円滑な運用と適正な実施を確保するため、訪問調査、扶養能力調査及び資産調査を行いました。主な実績として、令和4年度における訪問調査数は25,750件、扶養能力調査数は2,152件、資産調査数は8,260件となっております。その結果、183件が自立により生活保護廃止となっております。	自立による生活保護廃止件数 単位 件	176	135	174	194	183

6 施策の総合評価（主たる担当部局）

令和元年度から令和4年度の4か年における、生活困窮の就労支援対象者の就労・増収率は、令和元年度は80.0%（就労支援対象者：20名、就労・増収者：16名）、令和2年度は78.6%（就労対象者：14名、就労・増収者：11名）と減少したものの、令和3年度には関係機関との連携を図り、就労支援を強化したことにより90.9%（就労支援対象者：44名、就労・増収者40名）、令和4年度も、令和3年度に引き続き92.7%（就労支援対象者：41名、就労・増収者38名）と増加していることから、今後も継続して取り組む必要があります。

また、自立相談支援窓口の新規相談受付件数については、令和元年度は548件、令和2年度は1,974件でしたが、令和3年度には1,129件、令和4年度においては、前年度より511件少ない618件となっており、本市における経済雇用環境は依然として厳しい状況にあり、今後も継続して取り組む必要があります。

7 課題及び目指すべき方向性（主たる担当部局）

（課題）
生活困窮者の自立支援については、引き続き、関係機関と連携しながら、生活支援や就労支援などを行い、自立の促進に取り組む必要があります。

（目指すべき方向性）
離職などによる収入の減少を要因として、新たに生活保護を受給することとなった世帯については、保護開始直後から就労支援を行い、自立の促進を図られるよう積極的かつ重点的に支援を行います。

